

令和4年シラス曳網調査結果 NO.1

令和4年5月25日

福島県水産海洋研究センター

1 調査方法

- ・調査船拓水で5月18日に相馬海域のシラス調査を行いました。
- ・調査点は37-48N、141-00E～141-15Eの4点です。表面水温は13.5℃～14.6℃でした(図1)。
- ・中層トロール網で10m深付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。

2 結果

- ・カタクチイワシシラスの採捕数は4尾、定点当たりの平均は1尾でした(図1)。全長は19.1～19.9mm、平均は19.5mmでした。
- ・マイワシシラスの採捕数は1尾、全長は17.5mmでした。(図1)。
- ・カタクチイワシシラスの採捕数について、過去の5月における調査結果と比較した結果は図2のとおりです。

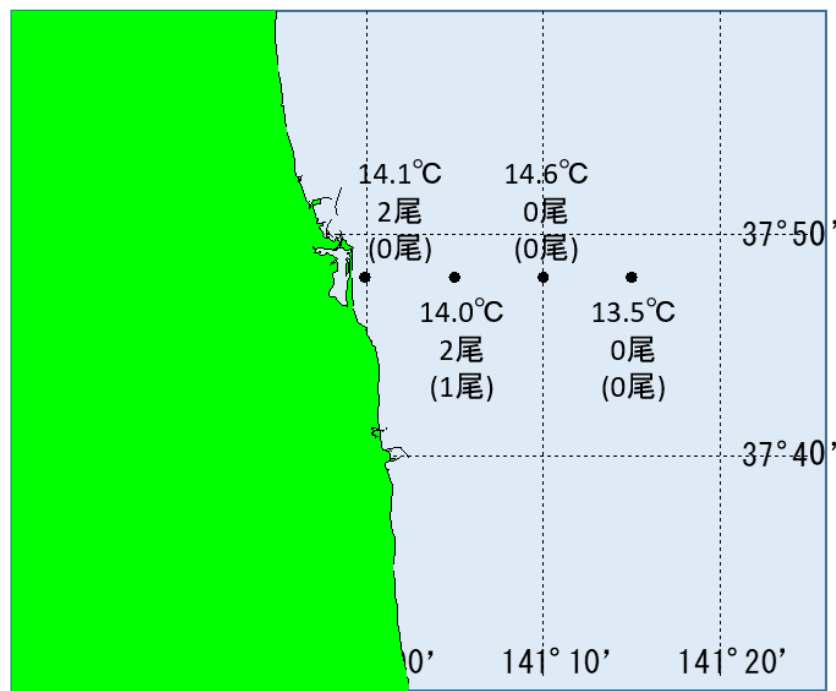


図1 シラス(カタクチイワシ、マイワシ)採捕数

※尾数上段はカタクチシラス、下段カッコ内はマイワシシラスを示しています。

令和 4 年シラス曳網調査結果 NO.1

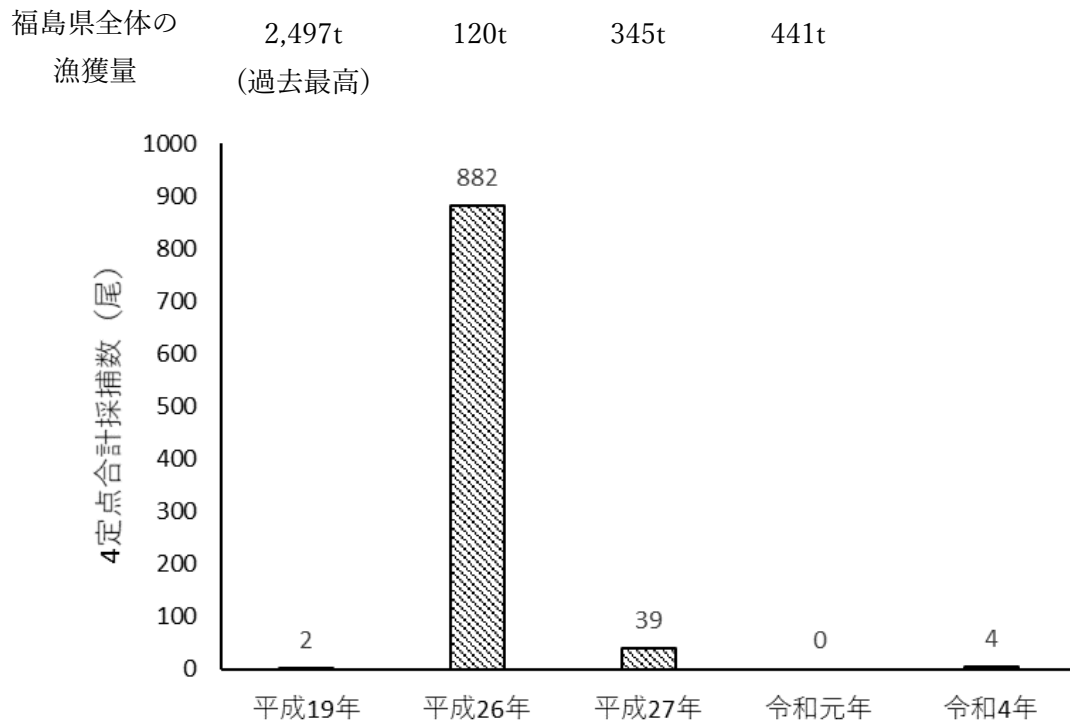


図2 鵜ノ尾埼定線における5月の合計採捕数

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和4年シラス曳網調査結果 NO.2

令和4年5月27日

福島県水産海洋研究センター

1 調査方法

- ・調査船拓水で5月23日に双葉海域のシラス調査を行いました。
- ・調査点は37-30N、141-03E～141-18Eの4点です。表面水温は15.9℃～17.8℃でした(図1)。
- ・中層トロール網で10m深付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。

2 結果

- ・カタクチイワシシラスの採捕数は42尾、定点当たりの平均は10.5尾でした(図1)。全長は7.6mm～32.4mm、平均は15.3mmでした。
- ・カタクチイワシシラスの採捕数について、過去の5月における調査結果と比較した結果は図2のとおりです。

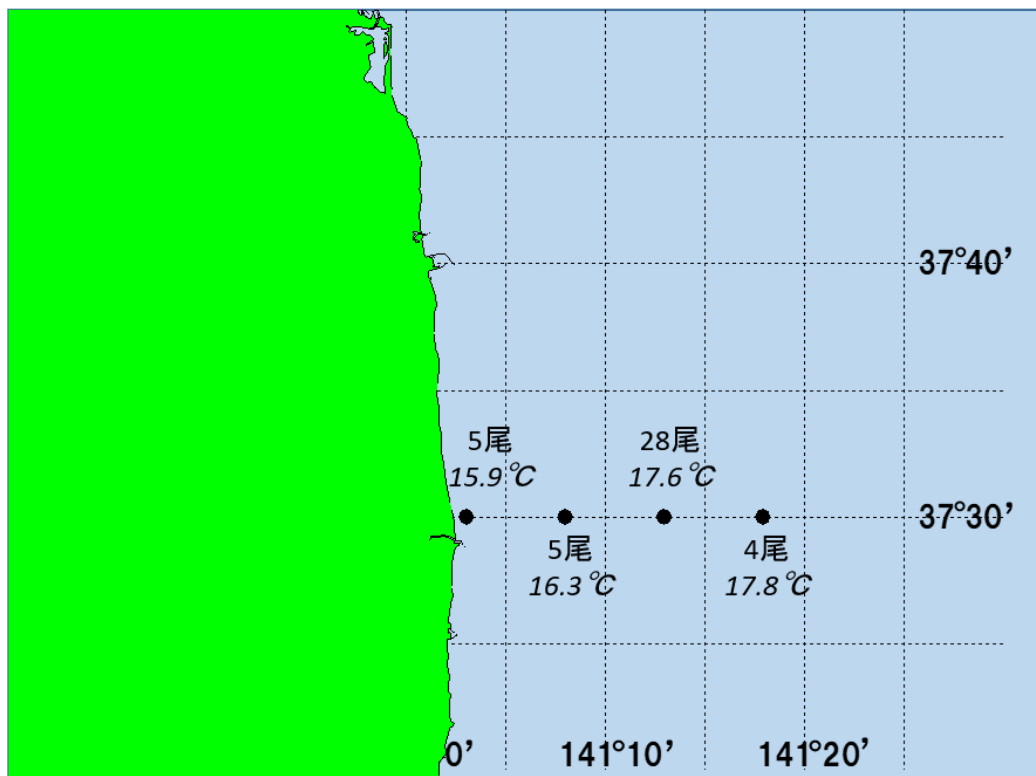


図1 カタクチイワシシラス採捕数

令和 4 年シラス曳網調査結果 NO.2

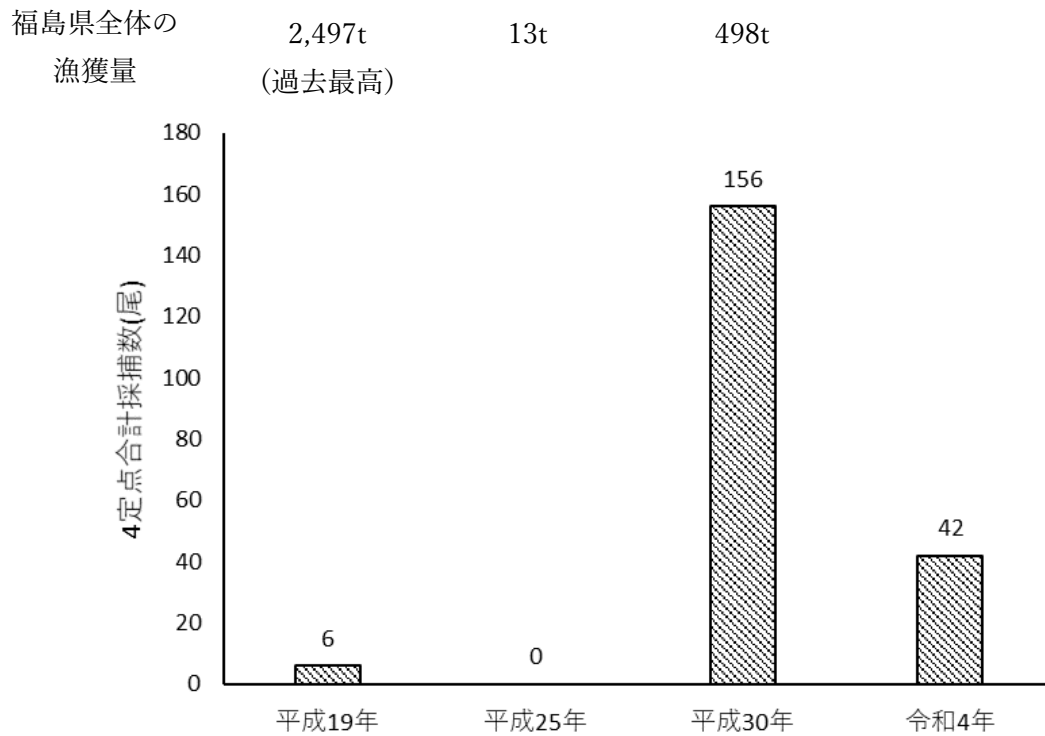


図 2 請戸定線における 5 月の合計採捕数

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和4年シラス曳網調査結果 NO.3

令和4年5月27日

福島県水産海洋研究センター

1 調査方法

- ・調査船拓水で5月24日にいわき海域のシラス調査を行いました。
- ・調査点は36-55N、140-55E～141-10Eの4点です。表面水温は14.3℃～16.5℃でした(図1)。
- ・中層トロール網で10m深付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。

2 結果

- ・カタクチイワシシラスの採捕数は36尾、定点当たりの平均は9尾でした(図1)。全長は6.9mm～35.7mm、平均は18.0mmでした。
- ・カタクチイワシシラスの採捕数について、過去の5月における調査結果と比較した結果は図2のとおりです。

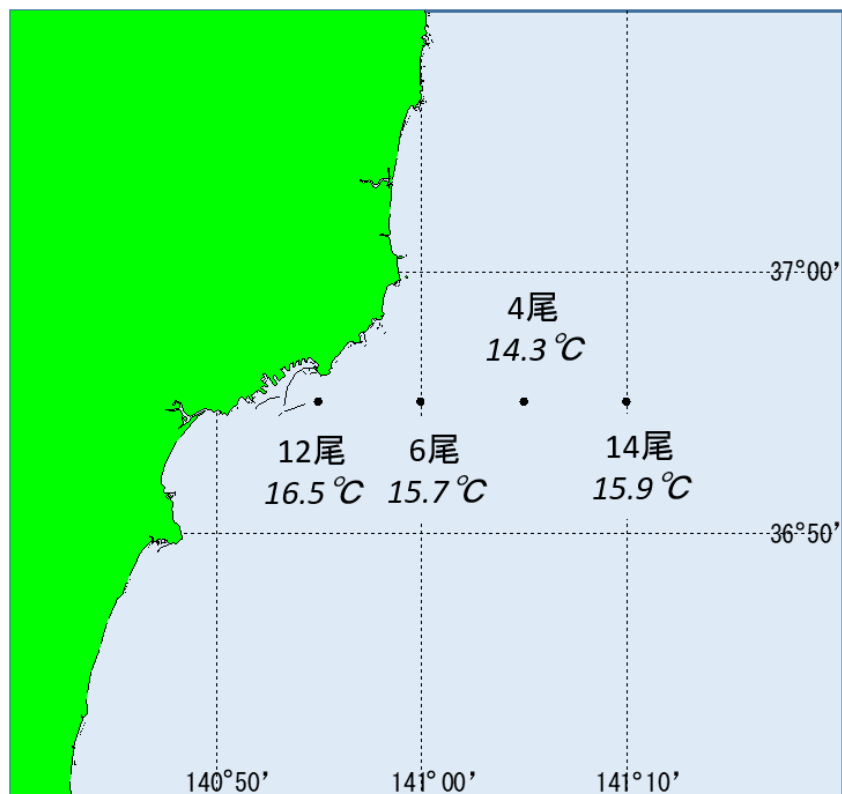


図1 カタクチイワシシラス採捕数

福島県全体の
漁獲量

1,011t 2,164t 0t 13t 120t 345t 108t 326t 498t

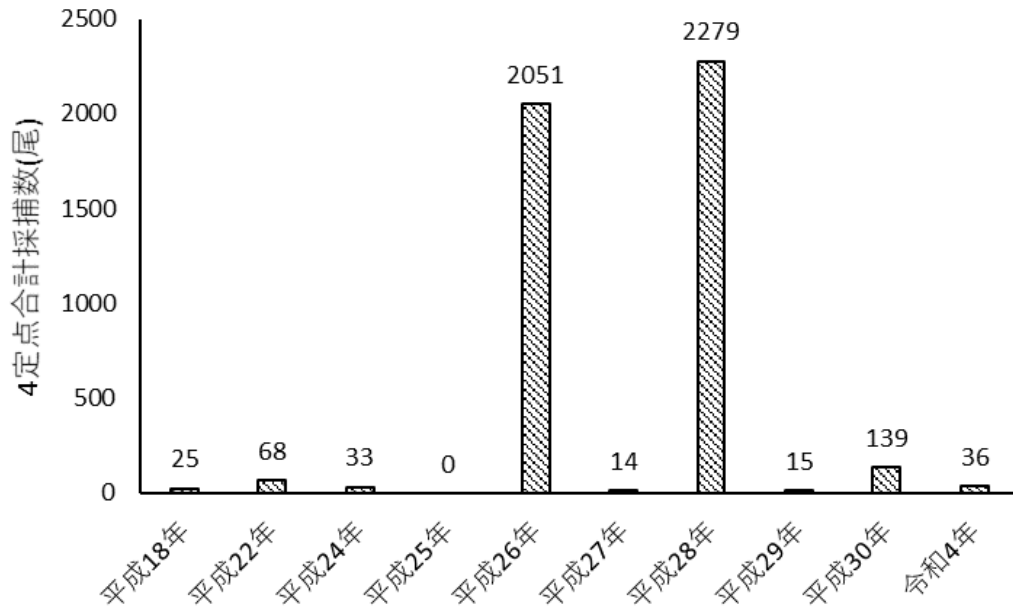


図2 小名浜定線における5月の合計採捕数

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和 4 年シラス曳網調査結果 NO.4

令和 4 年 6 月 28 日
福島県水産海洋研究センター

【双葉海域】

1 調査方法

- ・調査船拓水で 6 月 20 日、21 日に双葉海域のシラス調査を行いました。
- ・調査点は 37-30N、141-03E～141-18E の 4 点です。表面水温は 16.1℃～18.4℃でした（図 1）。
- ・中層トロール網で 10m 深付近（一番灘の定点は表層）を 10 分間曳網しました。

2 結果

- ・カタクチイワシシラスの採捕数は 132 尾でした(図 1)。
- ・全長は 5.8mm～35.7mm、2cm 台のものが多く採捕されました。

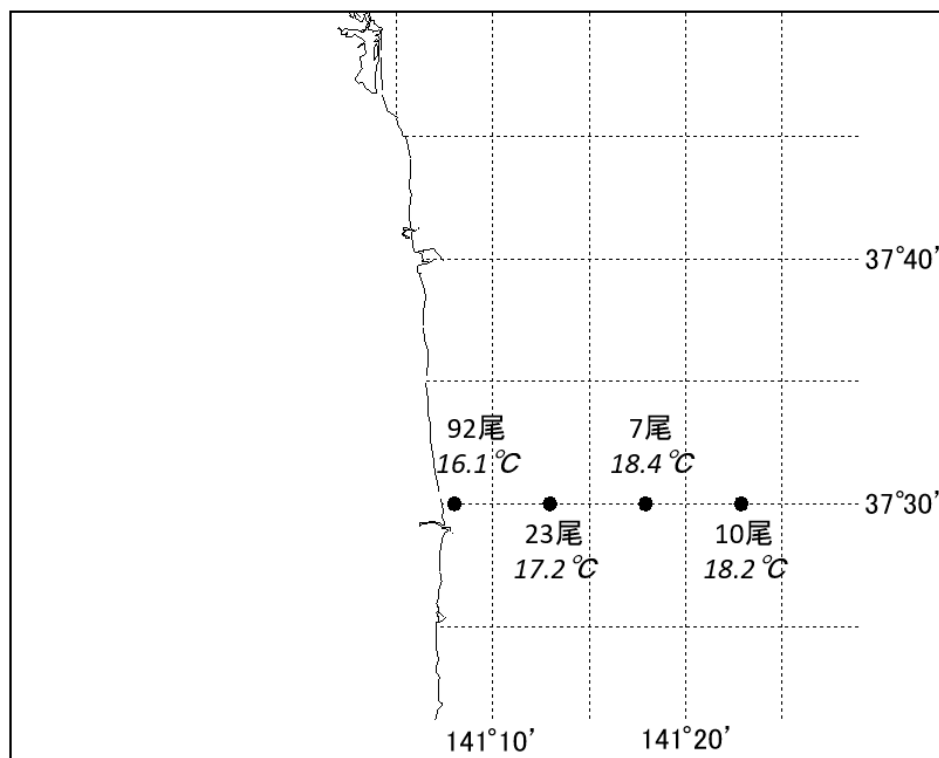


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

【いわき海域】

1 調査方法

- ・調査船拓水で6月21日にいわき海域のシラス調査を行いました。
- ・調査点は36-55N、140-55E～141-10Eの4点です。表面水温は18.0℃～19.8℃でした(図1)。
- ・中層トロール網で10m深付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。

2 結果

- ・カタクチイワシシラスの採捕数は301尾でした(図2)。
- ・全長は3.1mm～20.9mm、平均は9.4mmでした。1～2cmの小さなサイズのものが多く採捕されました。

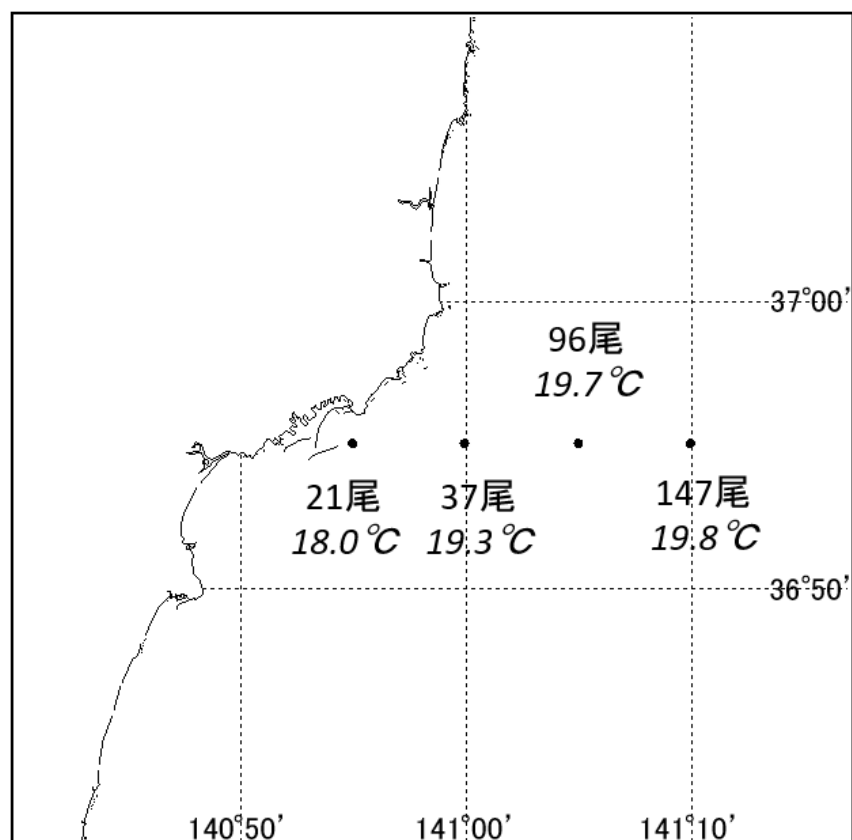


図2 カタクチイワシシラス採捕数

【相馬海域】

1 調査方法

- ・調査船拓水で6月22日に相馬海域のシラス調査を行いました。
- ・調査点は37-48N、141-00E～141-15Eの4点です。表面水温は17.5℃～19.9℃でした（図1）。
- ・中層トロール網で10m深付近（一番灘の定点は表層）を10分間曳網しました。

2 結果

- ・カタクチイワシシラスの採捕数は36尾でした（図3）。
- ・全長は3.7～30.6mm、平均は15.4mmでした。1cm未満の群と2cm後半の群の組成でした。

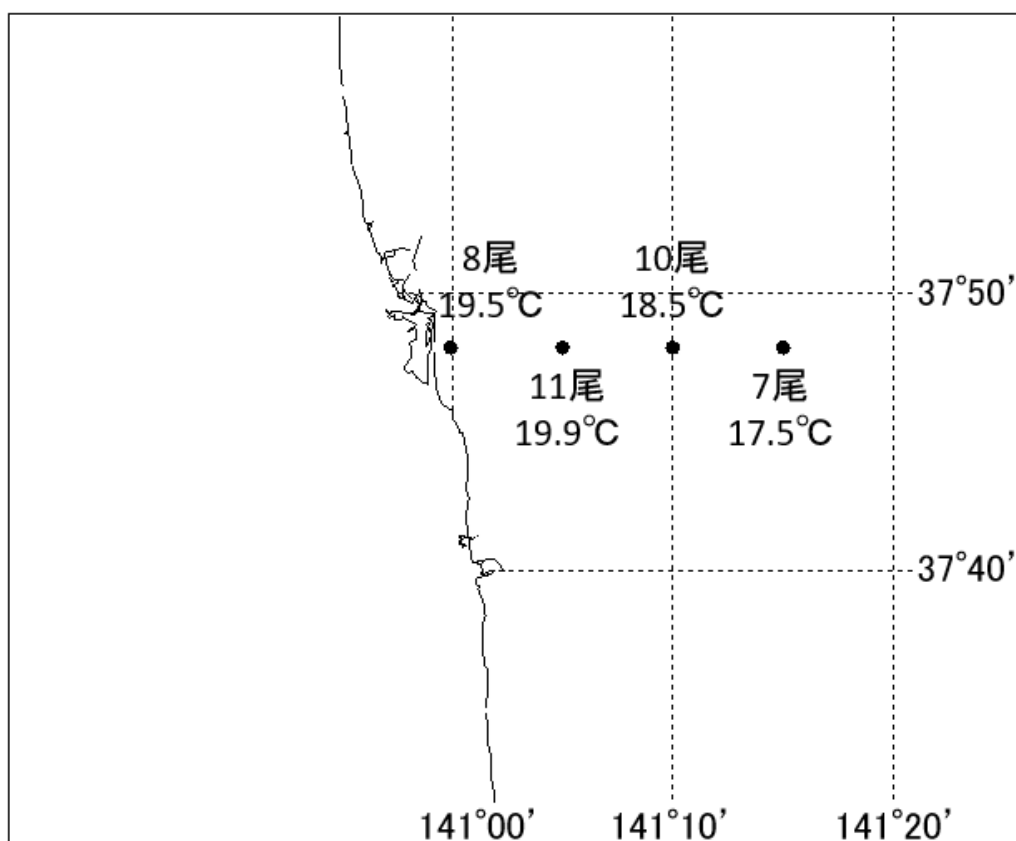


図3 シラス採捕数

- ・カタクチイワシシラスの採捕数について、過去の6月における調査結果と比較した結果は図4のとおりです。

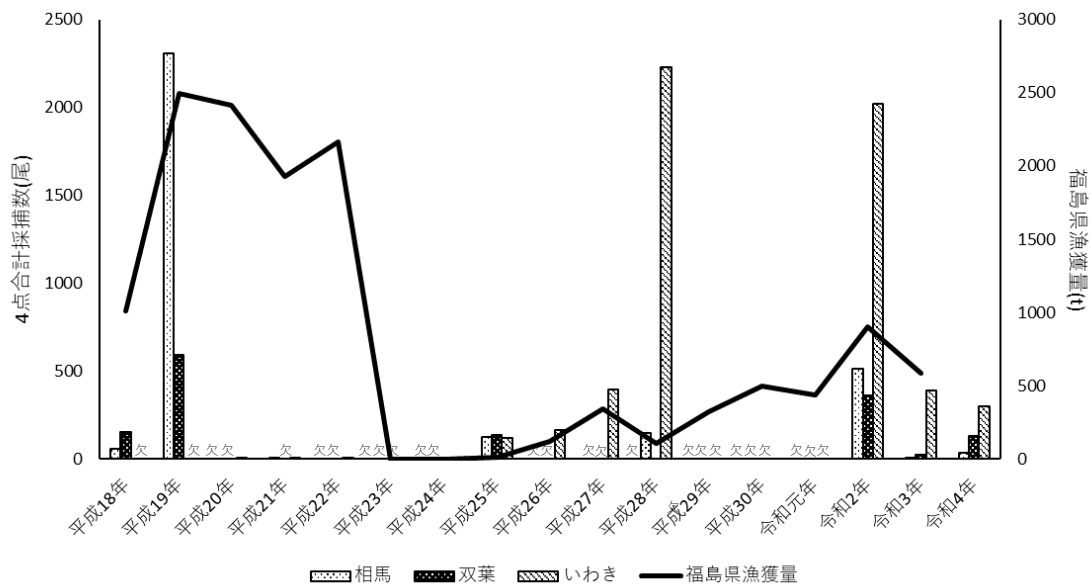


図4 6月の合計採捕数

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和4年シラス曳網調査結果 NO.5

令和4年7月19日

福島県水産海洋研究センター

【相馬海域】

1 調査方法

- ・調査船拓水で7月13日に相馬海域(鵜ノ尾埼定線)のシラス調査を行いました。
- ・調査点は37-48N線上の、141-00E(水深14m)、141-05E(水深27m)、141-10E(水深38m)、141-15E(水深55m)の4点です。
- ・表面水温は20.0℃～23.9℃でした(図1)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で10m深付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・カタクチイワシシラスの採捕数は102～936尾でした(図1)。
6月のカタクチイワシシラス採捕数は7～11尾であり、6月と7月の4点合計の採捕数を比較すると先月よりも2,250尾増加しました。
- ・全長は3.5～18.6mmであり、地点間で大きな差は認められませんでした。
1cm未満のものが全体の77%占めておりました。約1か月後には、漁獲サイズの25mmに達すると考えられます。
- ・カタクチイワシシラスの採捕数について、過去の7月における調査結果と比較した結果は図2のとおりです。

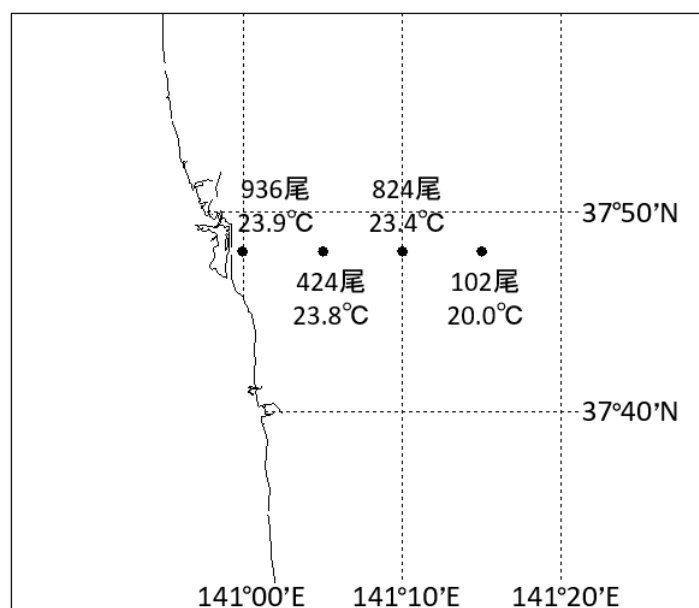


図1 カタクチイワシシラス採捕数

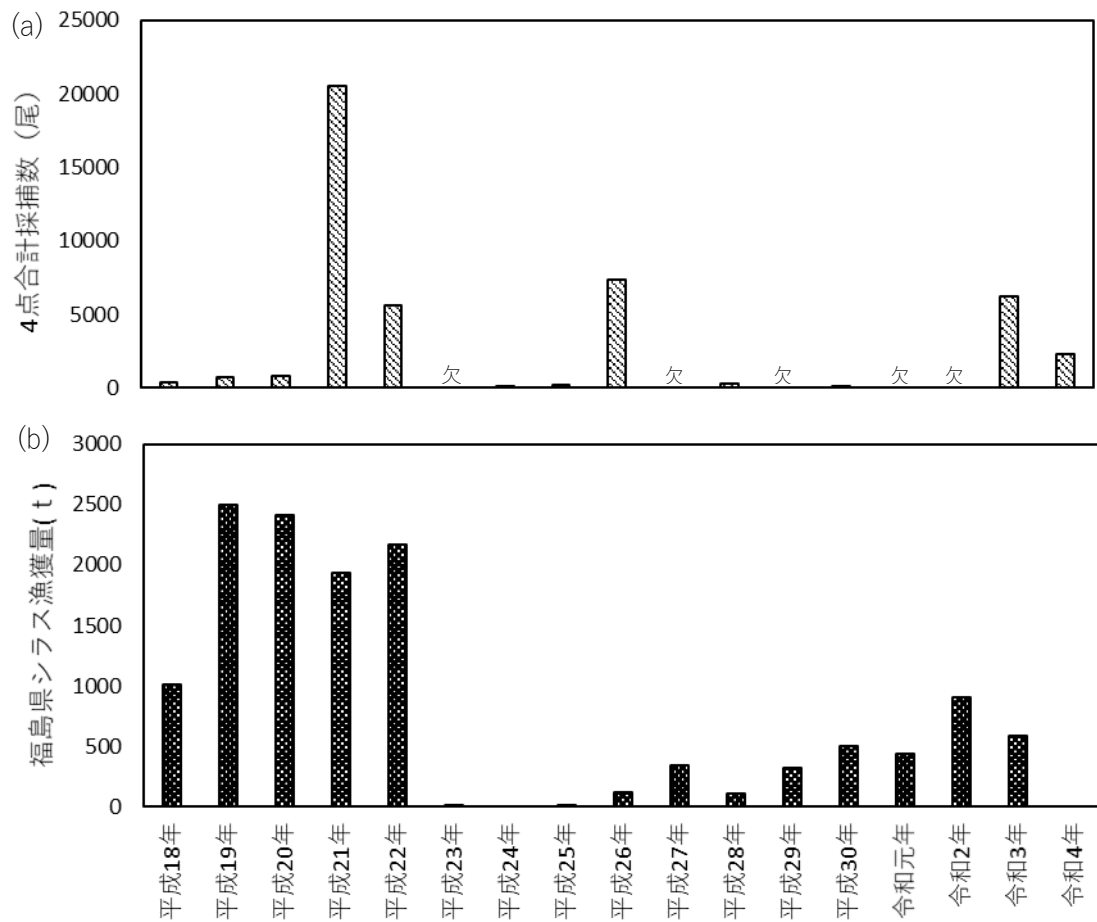


図2 (a)鵜ノ尾埼定線における7月の合計採捕数、(b)福島県のシラス漁獲量

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

令和 4 年シラス曳網調査結果 NO.6

令和 4 年 7 月 28 日

福島県水産海洋研究センター

【双葉海域】

1 調査方法

- ・調査船拓水で 7 月 19 日に双葉海域(請戸定線)のシラス調査を行いました。
- ・調査点は 37-30N 線上の、141-03E(水深 18m)、141-08 E(水深 36m)、141-13 E(水深 68m)、141-18E(水深 111m)の 4 点です。
- ・表面水温は 22.1℃～24.4℃でした (図 1)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)で水深 10m 付近 (一番灘の定点は表層) を 10 分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・カタクチイワシシラスの採捕数は 88～8000 尾でした(図 1)。
6 月のカタクチイワシシラス採捕数は 7～92 尾であり、6 月と 7 月の 4 点合計の採捕数を比較すると先月よりも 10,228 尾増加しました。
- ・全長は 3.6～25.4mm であり、沖側 2 地点では 14mm 以上の個体は見られませんでした。1cm 前後の個体が全体の 52%占めていました。約 1 か月後には、漁獲サイズの 25mm に達すると考えられます。

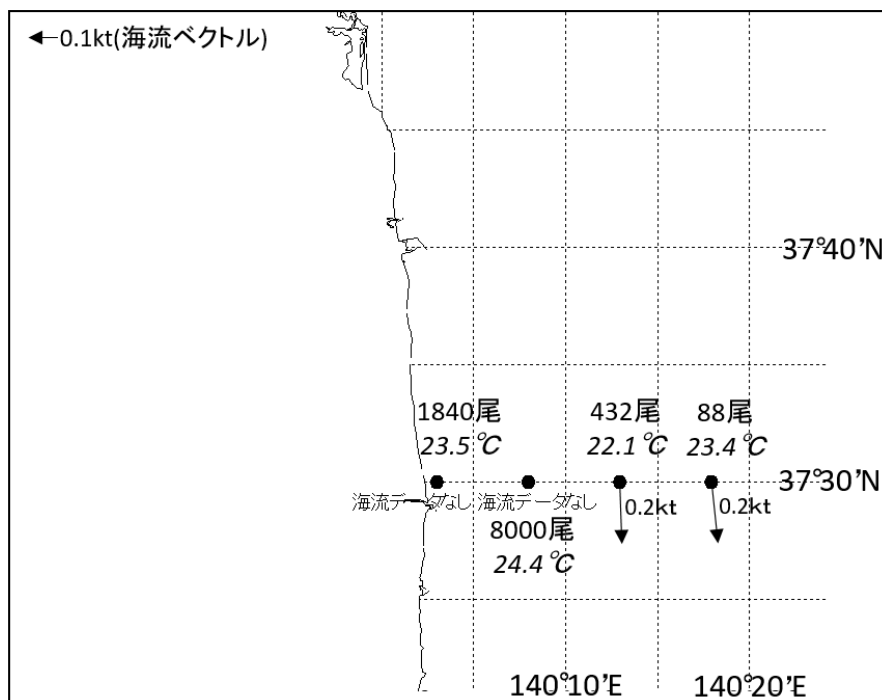


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

【いわき海域】

1 調査方法

- ・調査船拓水で7月20日にいわき海域(小名浜定線)のシラス調査を行いました。
- ・調査点は36-55N線上の、140-55E(水深26m)、141-00E(水深63m)、141-05E(水深122m)、141-10E(水深141m)の4点です。
- ・表面水温は20.5℃～22.1℃でした(図2)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・カタクチイワシシラスの採捕数は20～832尾でした(図2)。
6月のカタクチイワシシラス採捕数は21～147尾であり、6月と7月の4点合計の採捕数を比較すると先月よりも2,007尾増加しました。
- ・全長は3.7～28.6mmでした。特に沿岸の地点では他の地点で採捕されたシラスよりも大きな個体が見られ、14mm～16mmにモードがありました。6mm～12mmの個体が全体の71%占めていました。約1か月後には、漁獲サイズの25mmに達すると考えられます。

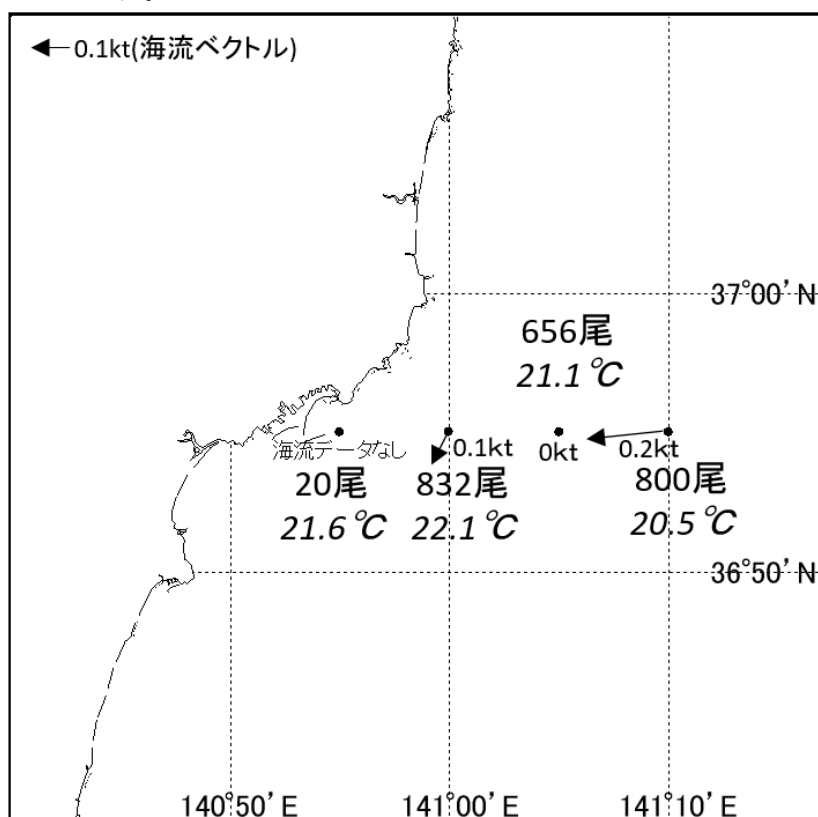


図2 カタクチイワシシラス採捕数

令和4年シラス曳網調査結果 NO.6

カタクチイワシシラスの採捕数について、過去の7月における調査結果と比較した結果は図3のとおりです。

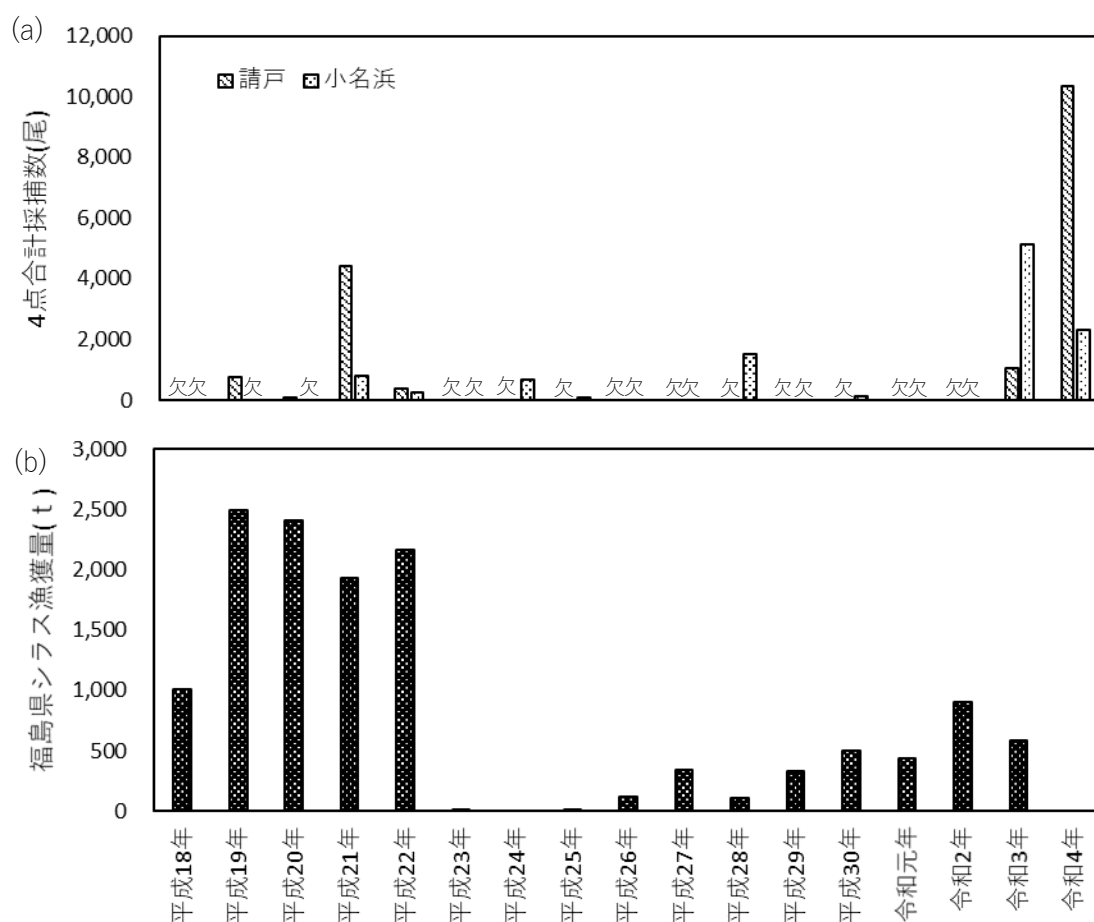


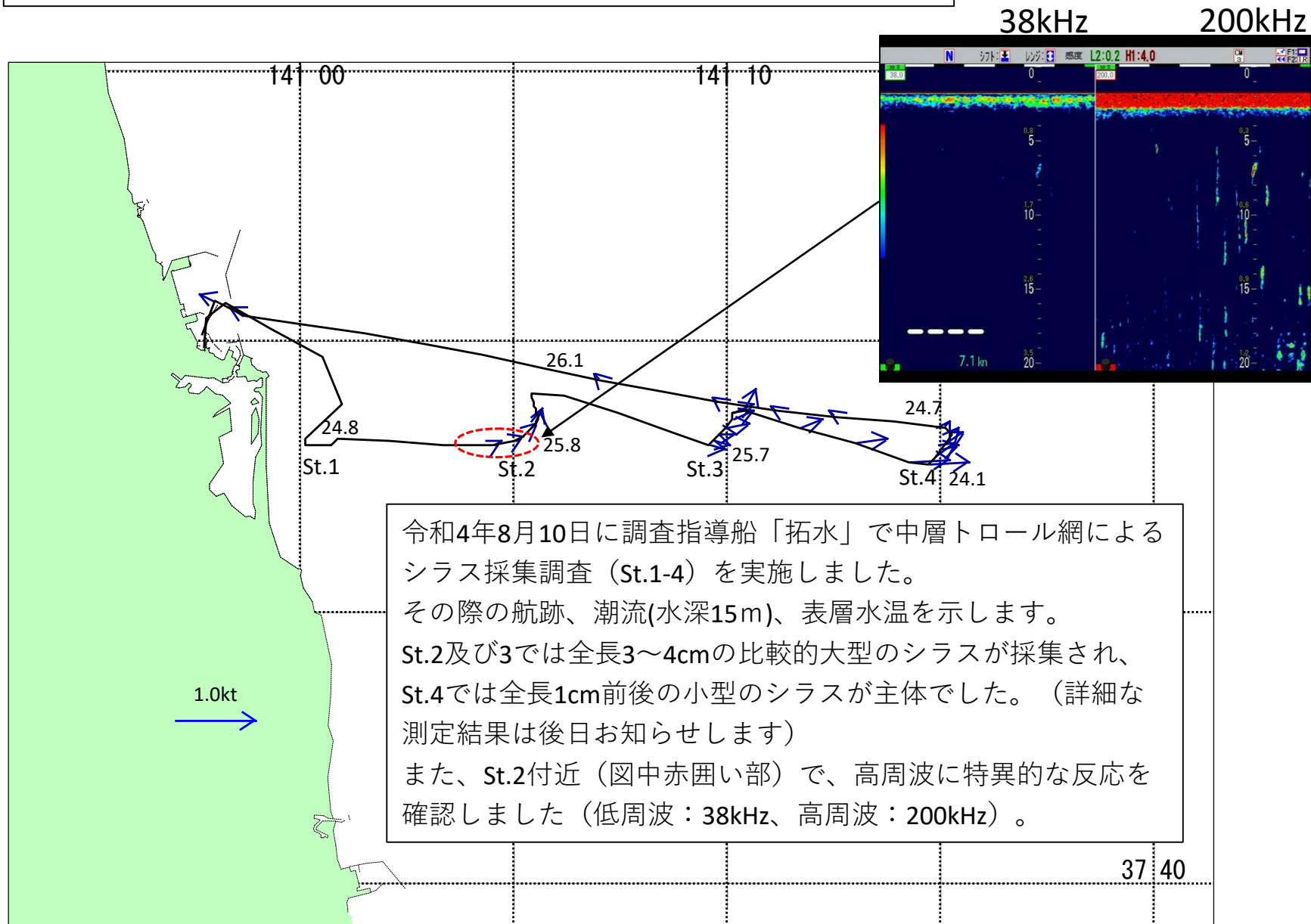
図3 (a)請戸定線、小名浜定線における7月の合計採捕数、(b)福島県のシラス漁獲量

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

シラス曳網調査（R4.8.10福島県水産海洋研究センター）



令和4年シラス曳網調査結果 NO.7

令和4年8月17日

福島県水産海洋研究センター

【鵜ノ尾埼海域】

1 調査方法

- ・8月12日にお知らせした調査船拓水による8月10日の相馬海域(鵜ノ尾埼定線)のカタクチイワシシラス調査の概要の詳細をお知らせします。
- ・調査点は37-30N線上の、141-00E(水深13m)、141-05E(水深28m)、141-10E(水深39m)、141-15E(水深54m)の4点です。
- ・表面水温は23.8℃～25.8℃でした(図1)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・シラスの採捕数は16～432尾でした(図1)。
7月のシラス採捕数は102～936尾であり、7月と8月の4点合計の採捕数を比較すると先月よりも1,424尾減少しました。
- ・全長は5.3～38.9mmであり、10mm前後と30mm前後の2つの群で構成されました。141-00E、141-15Eの2地点では10mm以下の個体がそれぞれ50%、85%を占めていました。141-05E、141-10Eの2地点では28mm以上の個体がそれぞれ88%、98%を占めていました。

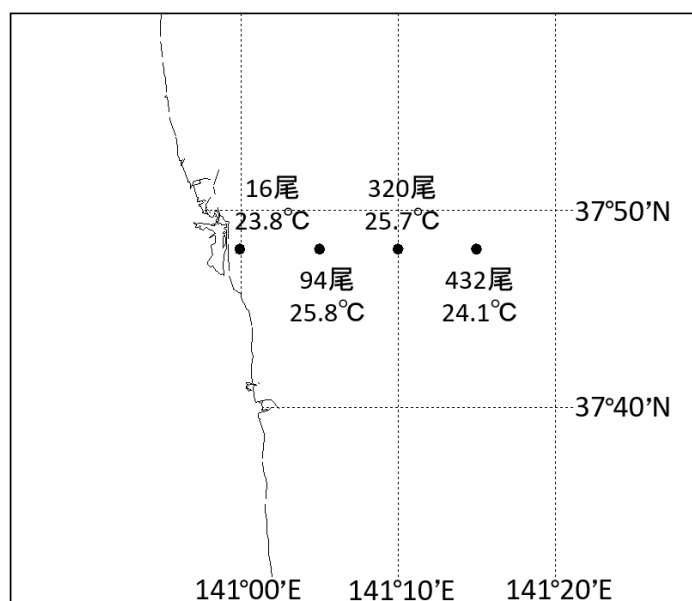


図1 カタクチイワシシラス採捕数

令和4年シラス曳網調査結果 NO.7

カタクチイワシシラスの採捕数について、過去の8月における調査結果と比較した結果は図2のとおりです。

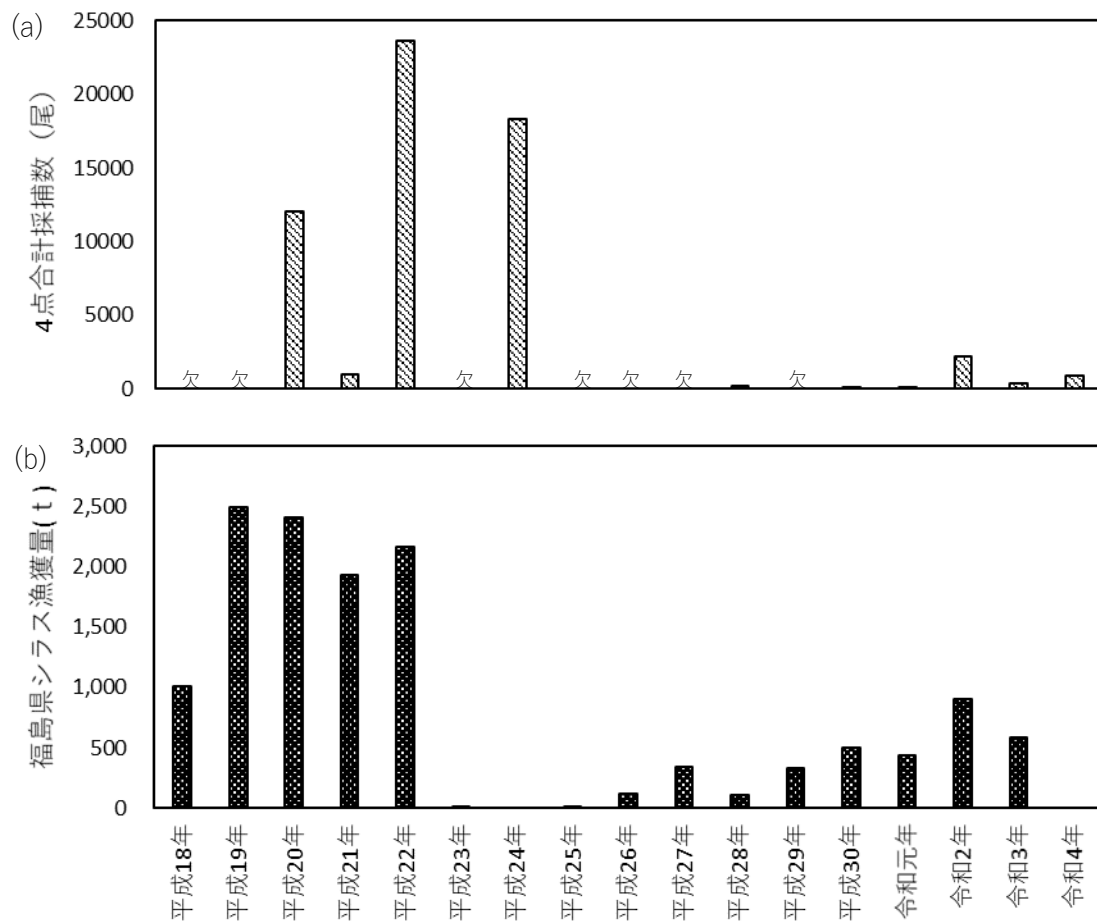


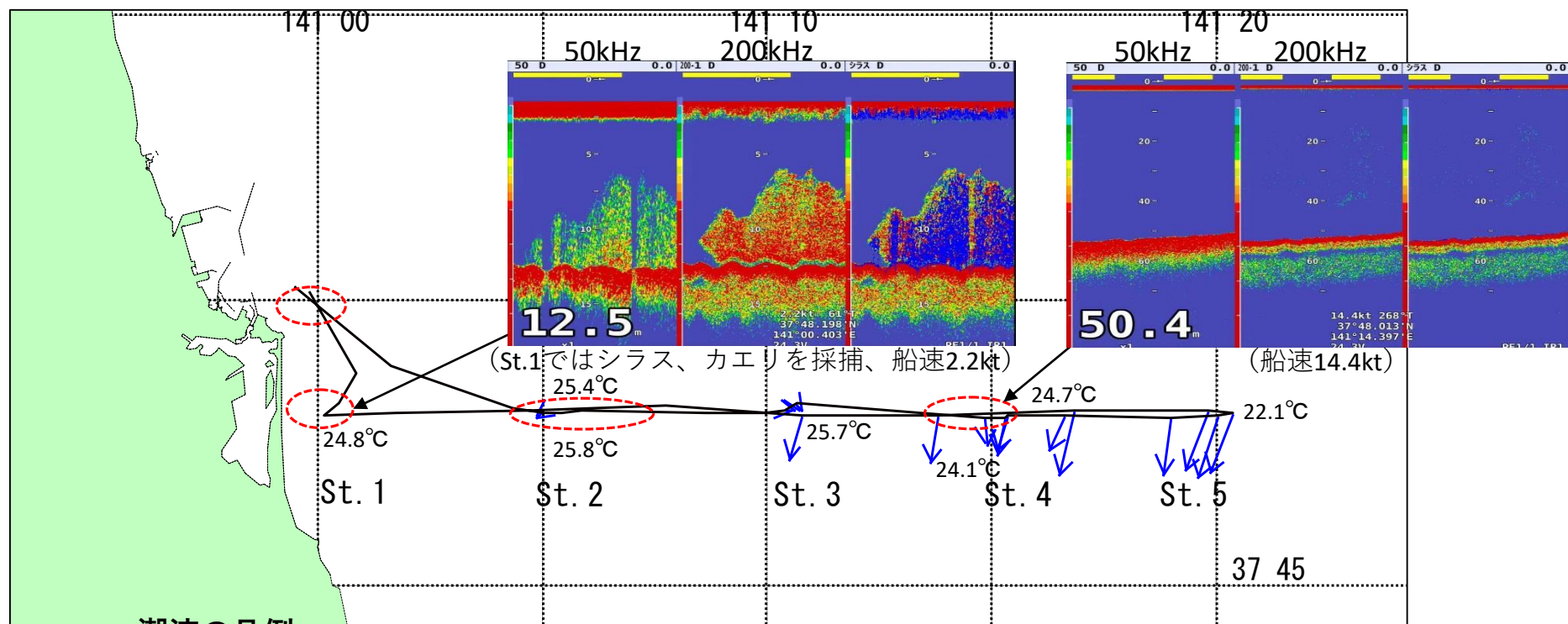
図2 (a)鶴ノ尾埼定線における8月の合計採捕数、(b)福島県のシラス漁獲量

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

シラス曳網調査（R4.9.7 福島県水産海洋研究センター）



令和4年9月5日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス採集調査（St.1-5）を実施しました。

その際の航跡、潮流(水深15m)、表層水温を示します。

どの地点においても、全長10mm前後の小型のシラスが採捕されました。また、灘よりも沖の方が多い傾向が見受けられました。（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。（上図は反応の例です。）

（低周波：50kHz、高周波：200kHz）

令和4年シラス曳網調査結果 No.8

令和4年9月9日

福島県水産海洋研究センター

【鵜ノ尾埼海域】

1 調査方法

- ・9月7日に概要をお知らせした調査船拓水による相馬海域(鵜ノ尾埼定線)のカタクチイワシシラス調査結果(9月5日実施)の詳細をお知らせします。
- ・調査点は37-48N線上の、141-00E(水深13m)、141-05E(水深34m)、141-10E(水深39m)、141-15E(水深50m)、141-20E(水深86m)の5点です。
- ・表面水温は22.2℃～23.8℃でした(図1)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・シラスの採捕数は1定点あたり8～145尾でした(図1)。
8月のシラス採捕数は16～432尾であり、8月と9月の灘側4点の合計採捕数は8月(862尾)よりも588尾減少しました。
- ・シラス採捕数について過去の9月における調査結果は図2のとおりです。
- ・全長は5.4～25.5mmであり、10mm前後の群を中心に構成されていました(図3)。
141-00E、141-05Eでは15mm前後にモードがあり、その他の地点では10mm前後にモードがありました。

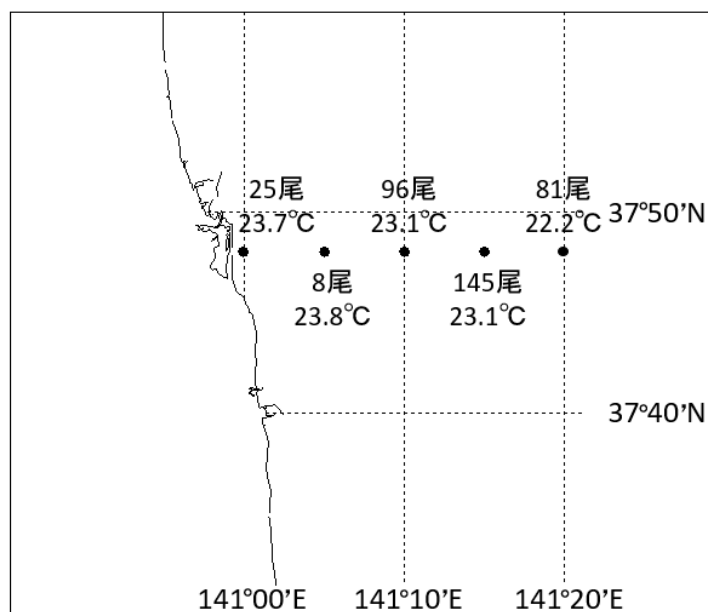


図1 カタクチイワシシラス採捕数

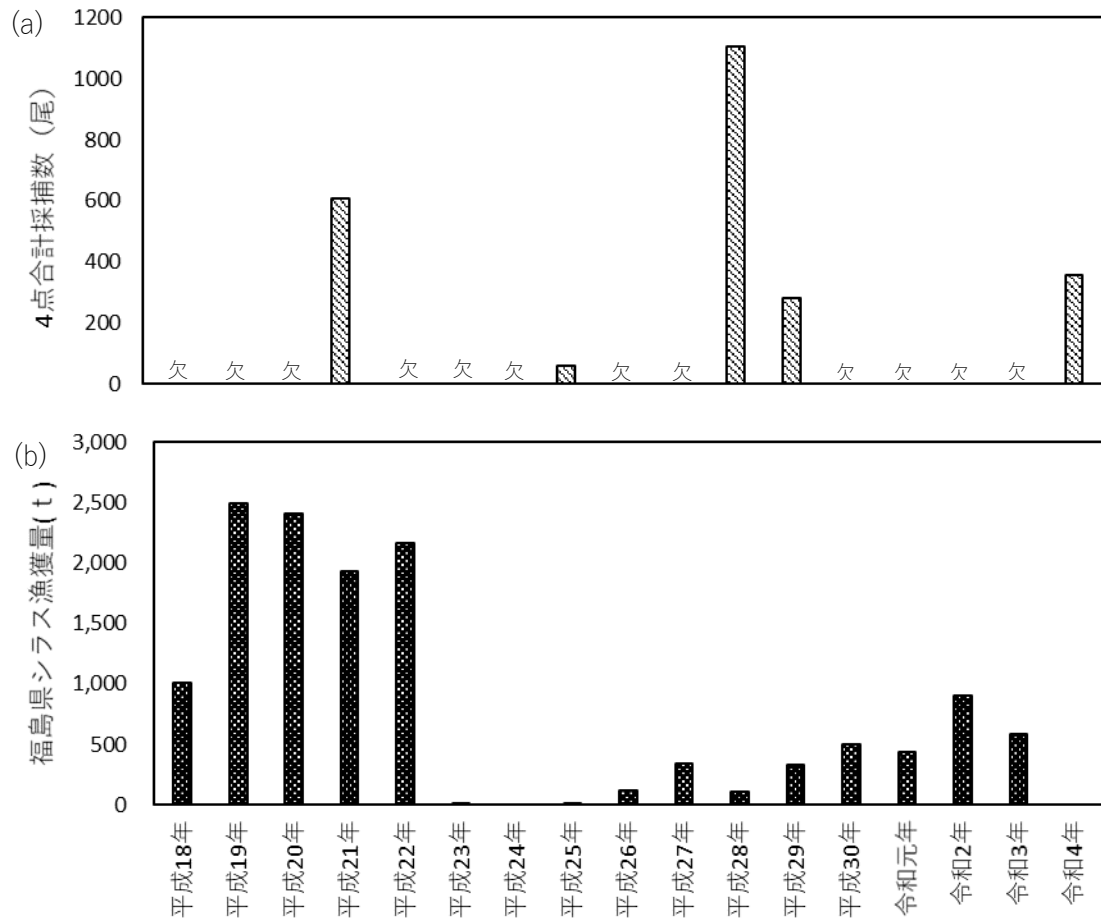


図2 (a)鵜ノ尾埼定線における9月の合計採捕数、(b)福島県の年別シラス漁獲量

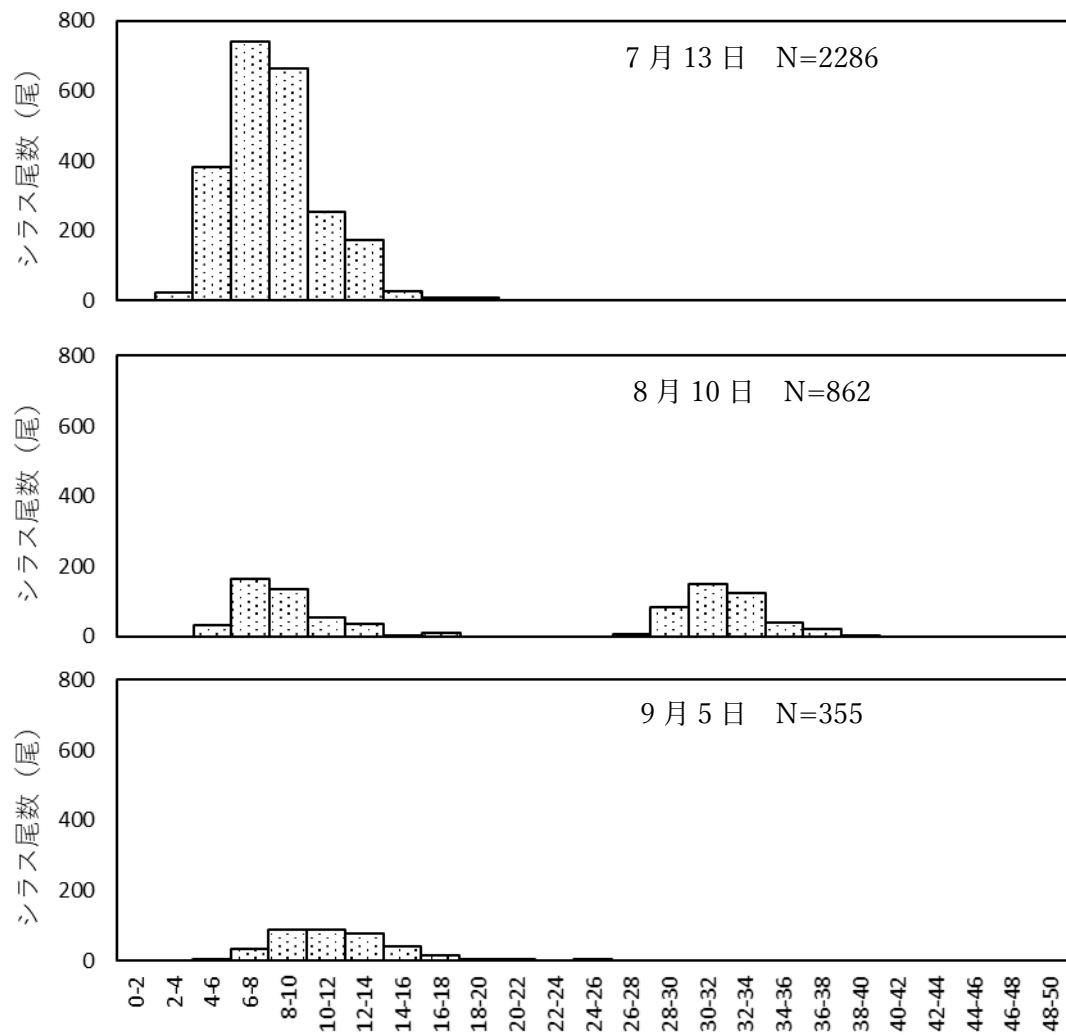


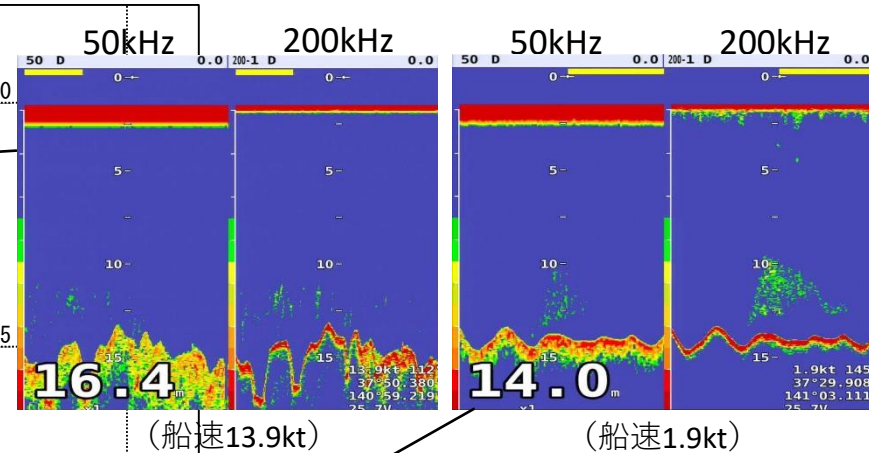
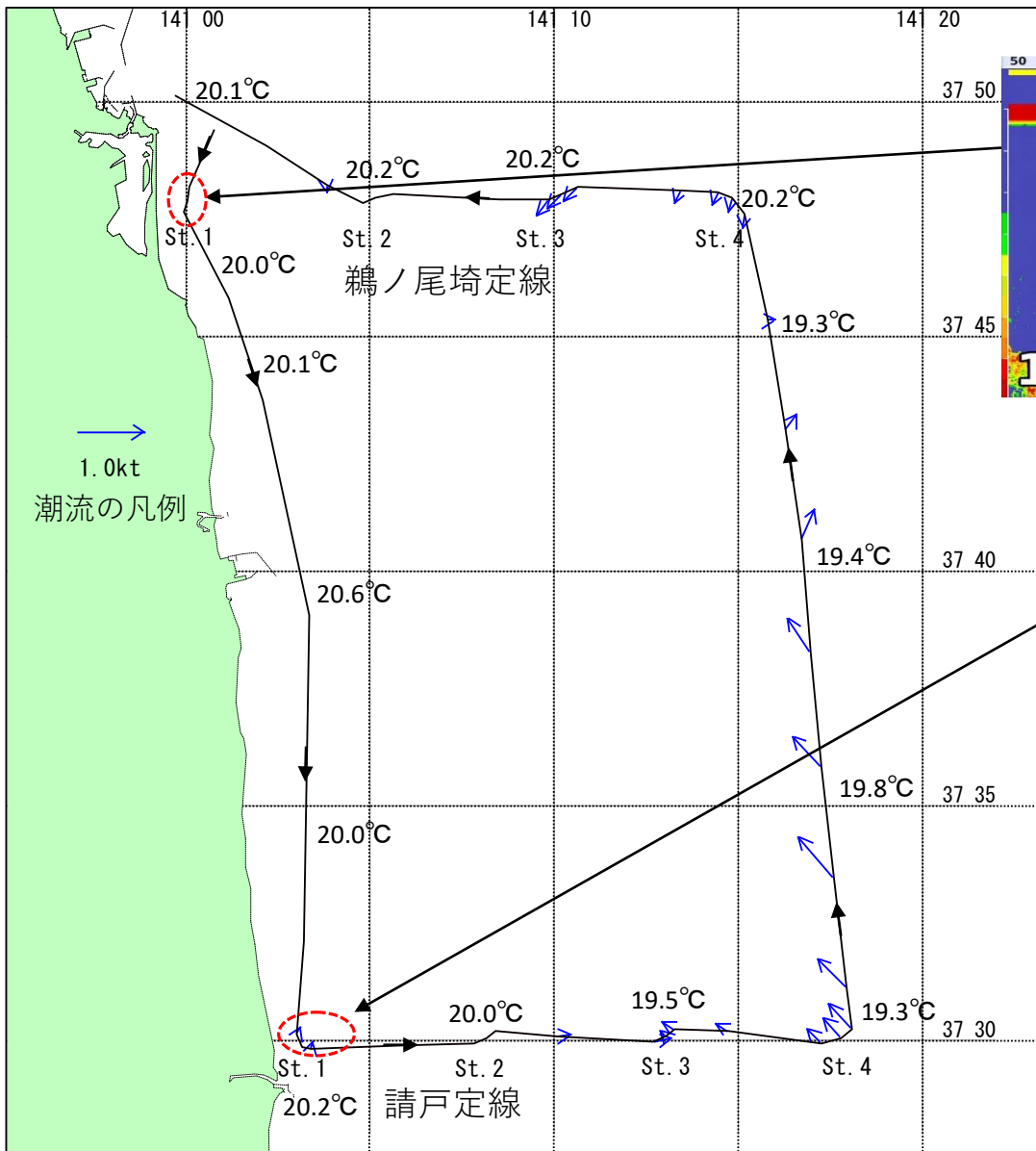
図3 調査月別シラスの全長組成

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

シラス曳網調査（R4.10.19 福島県水産海洋研究センター）



令和4年10月17日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス採集調査（鵜ノ尾埼定線St.1-4、請戸定線St.1-4）を実施しました。その際の航跡、潮流(水深15m)、表層水温を示します。

鵜ノ尾埼定線・請戸定線のどちらにおいてもSt.1にて全長30mm程度のシラスが採捕され、他の定点では全長10mm前後の小型のシラスが採捕されました。（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。（上図は反応の例です。）（低周波：50kHz、高周波：200kHz）

令和4年シラス曳網調査結果 No.9

令和4年10月25日

福島県水産海洋研究センター

【相馬海域】

1 調査方法

- ・10月19日に概要をお知らせした調査船拓水による相馬海域(鵜ノ尾埼定線)のカタクチイワシシラス調査結果(10月17日実施)の詳細をお知らせします。
- ・調査点は37-48N線上の、141-00E(水深10m)、141-05E(水深31m)、141-10E(水深39m)、141-15E(水深54m)の4点です。
- ・表面水温は20.0℃～20.2℃でした(図1)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・シラスの採捕数は1定点あたり104～1,051尾(合計1,723尾)でした(図1)。9月のシラス採捕数は8～145尾であり、10月の調査では9月調査時の同じ4点における合計採捕数(274尾)よりも1,449尾多く採捕されました。
- ・全長は4.1～37.1mmであり、10mm前後の群、20mm前後の群、30mm前後の群の3つの群で構成されていました(図2)。141-00Eでは25mm前後にモードがあり、その他の地点では10mm前後にモードがありました。

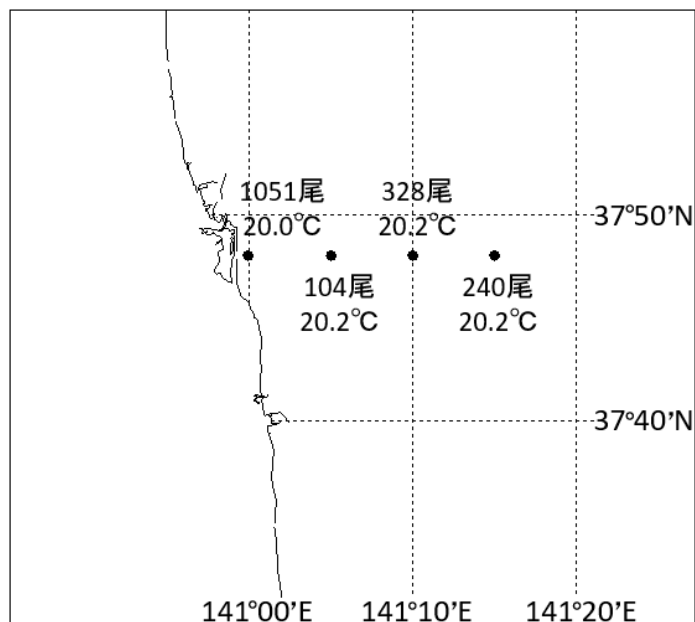


図1 カタクチイワシシラス採捕数

令和4年シラス曳網調査結果 No.9

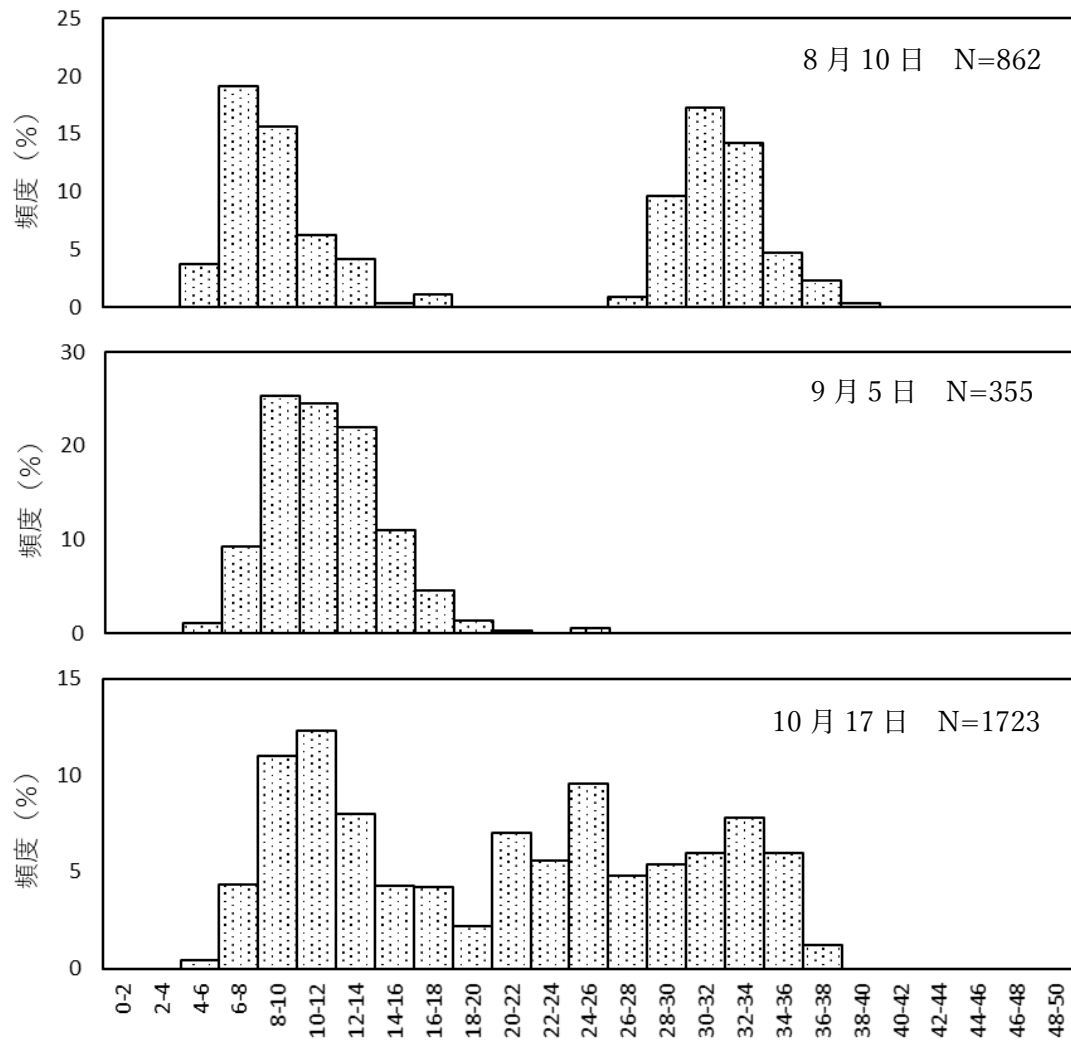


図2 調査月別シラスの全長組成

【双葉海域】

1 調査方法

- ・10月19日に概要をお知らせした調査船拓水による双葉海域(請戸定線)のカタクチイワシシラス調査結果(10月17日実施)の詳細をお知らせします。
- ・調査点は37-30N線上の、141-03E(水深13m)、141-08E(水深30m)、141-13E(水深53m)、141-18E(水深105m)の4点です。
- ・表面水温は19.3℃～20.2℃でした(図3)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・シラスの採捕数は1定点あたり17～1,444尾でした(図3)。
7月のシラス採捕数は88～8,000尾であり、10月の調査では7月(10,360尾)よりも8,691尾少ない採捕数となりました。
- ・全長は7.4mm～37.8mmであり、25mm前後の群を中心に構成されていました(図4)。141-03Eでは25mm前後にモードがあり、その他の地点は10mm前後、25mm前後の群で構成されていました。

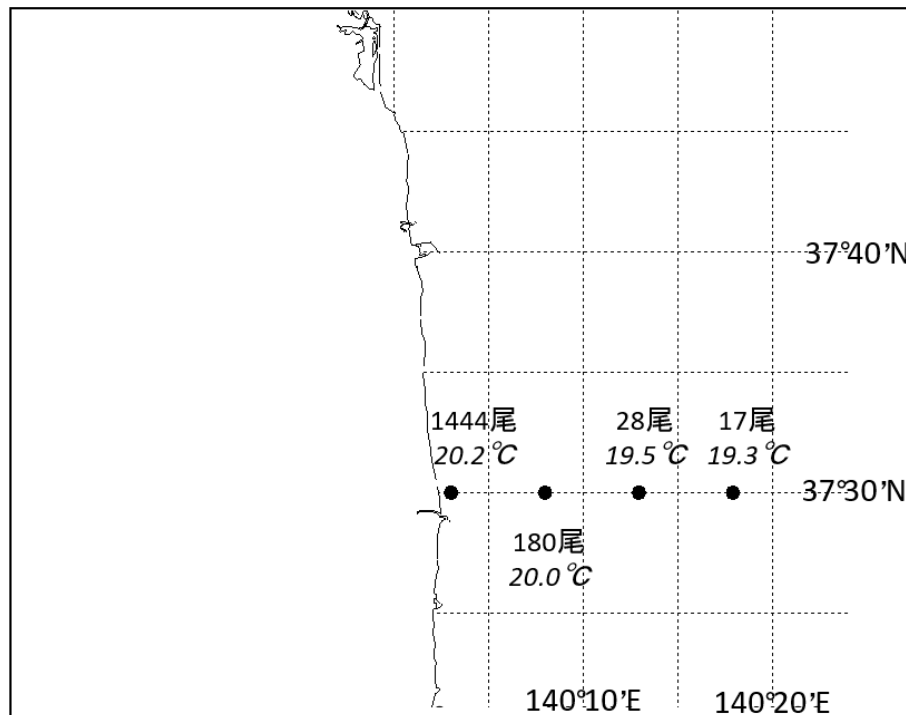


図3 カタクチイワシシラス採捕数

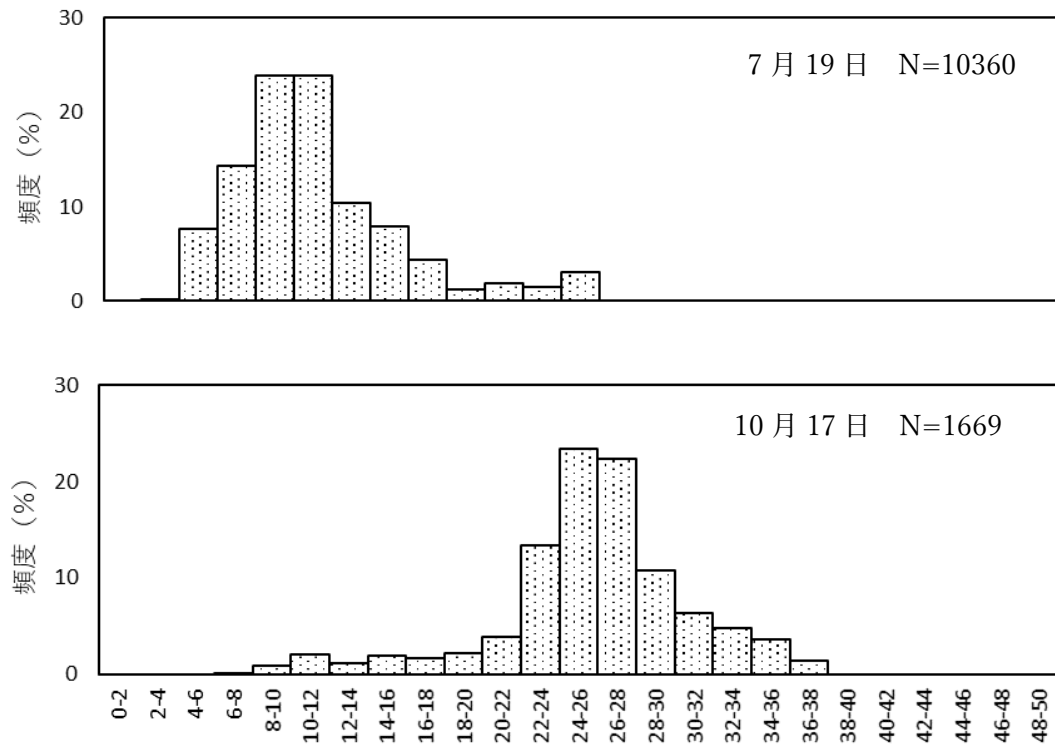


図4 調査月別シラスの全長組成

シラス採捕数について過去の10月における調査結果は図5のとおりです。

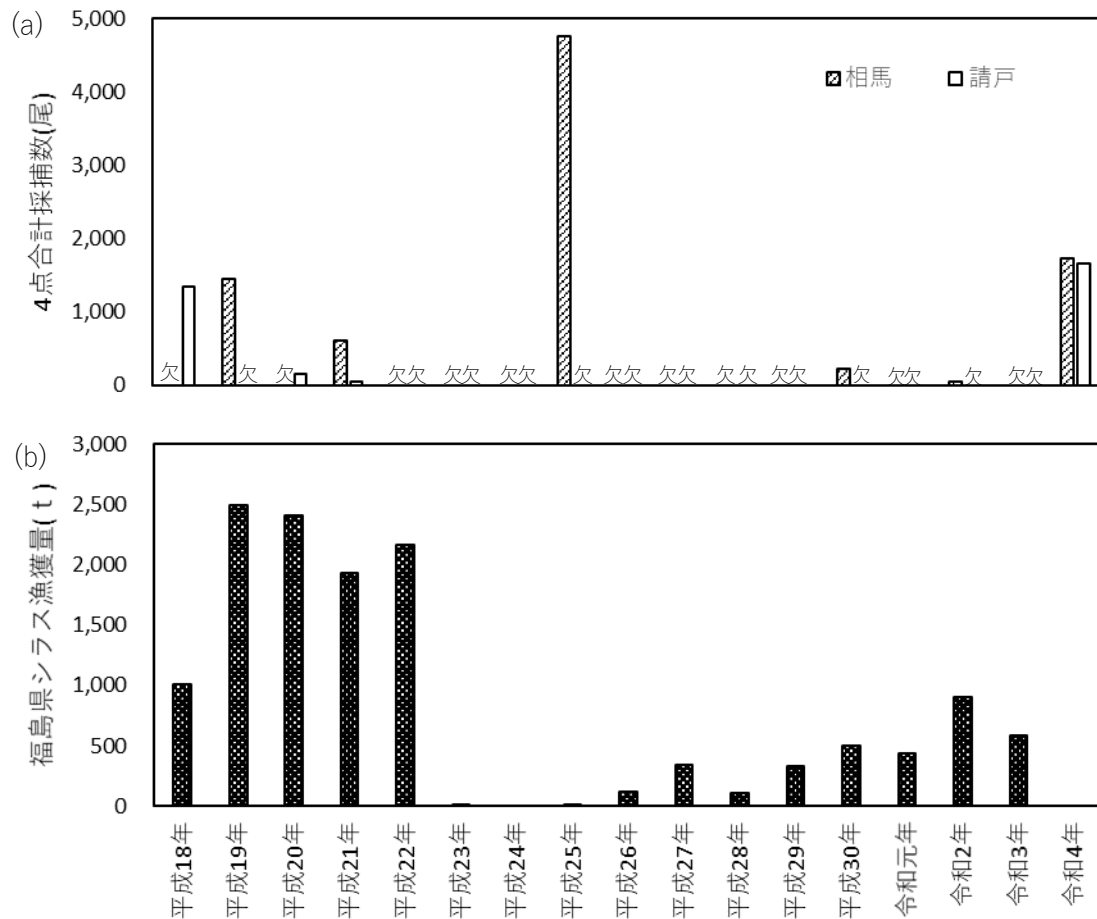


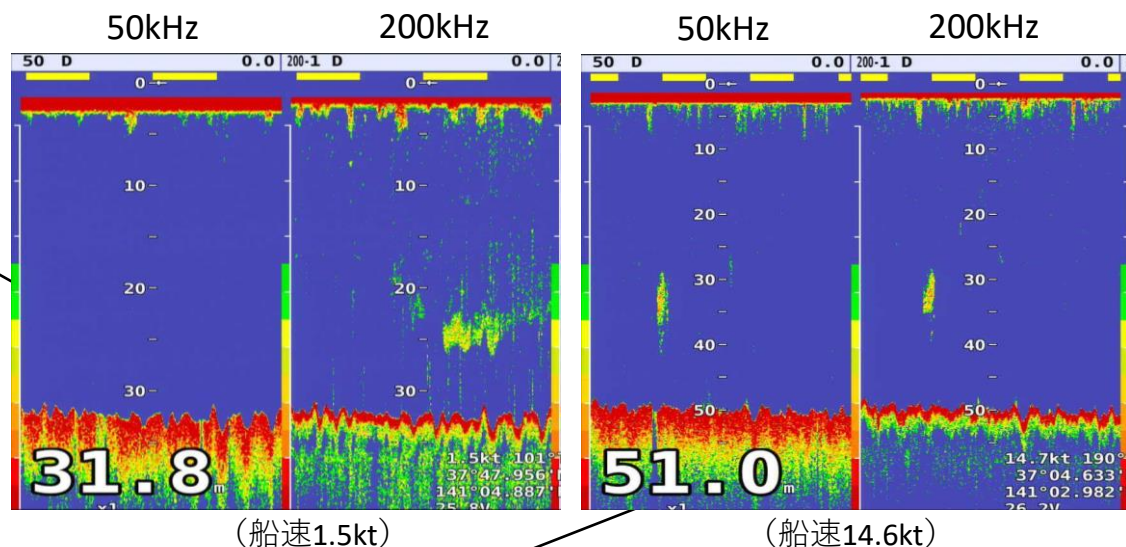
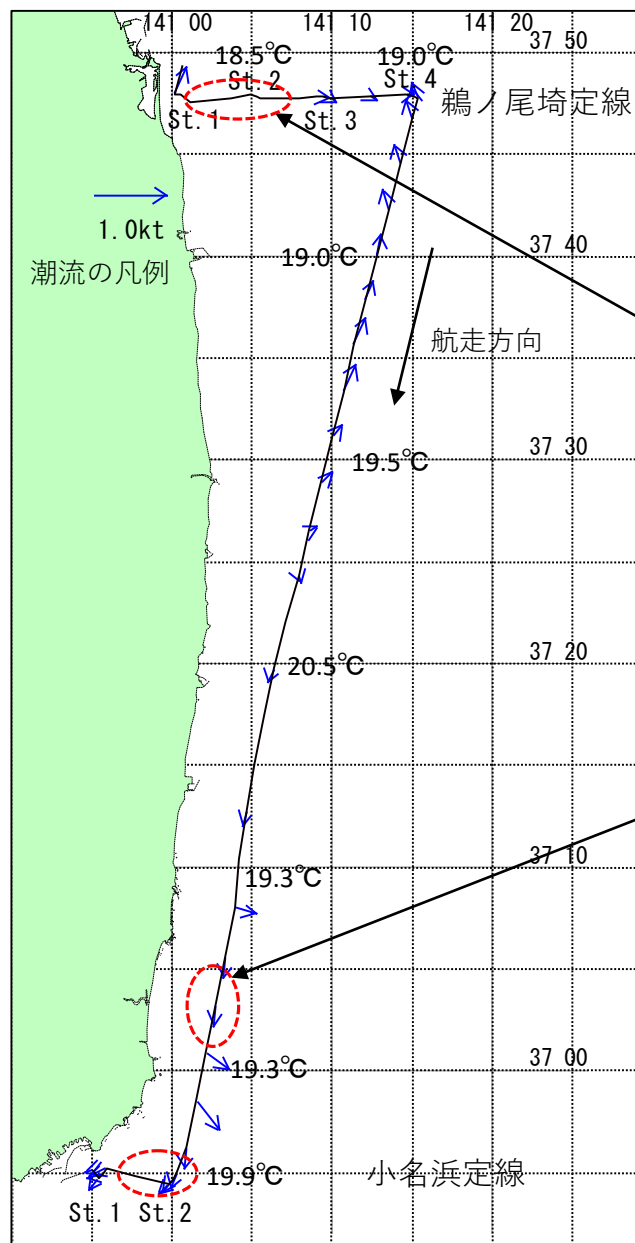
図5 (a)鵜ノ尾埼定線、請戸定線における10月の合計採捕数、(b)福島県の年別シラス漁獲量

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

シラス曳網調査（R4.11.21 福島県水産海洋研究センター）



令和4年11月21日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス採集調査（鵜ノ尾埼定線St.1-4、小名浜定線St.1-2）を実施しました。

その際の航跡、潮流(水深15m)、表層水温を示します。

鵜ノ尾埼定線のSt.1にて全長30mm程度のシラスが採捕され、他の定点では全長10mm前後の小型のシラスが採捕されました。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

（上図は反応の例です。）

（低周波：50kHz、高周波：200kHz）

令和 4 年シラス曳網調査結果 No.10

令和 4 年 11 月 25 日

福島県水産海洋研究センター

【相馬海域】

1 調査方法

- ・ 11 月 22 日に概要をお知らせした調査船拓水による相馬海域(鵜ノ尾埼定線)のカタクチイワシシラス調査結果(11 月 21 日実施)の詳細をお知らせします。
- ・ 調査点は 37-48N 線上の、141-00E(水深 10m)、141-05 E(水深 31m)、141-10 E(水深 37m)、141-15E(水深 54m)の 4 点です。
- ・ 表面水温は 15.7℃～19.1℃でした(図 1)。
- ・ 中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)で水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・ シラスの採捕数は 1 定点あたり 31～1,408 尾(合計 1,844 尾)でした(図 1)。
10 月のシラス採捕数は 104～1,051 尾であり、11 月の調査では 10 月調査時の同じ 4 点における合計採捕数(1,723 尾)よりも 121 尾多く採捕されました。
- ・ 全長は 6.8～46.3mm であり、10mm 前後の群、20mm 前後の群、40mm 前後の群の 3 つの群で構成されていました(図 2)。141-00E では 40mm 前後にモードがあり、その他の地点では 10mm 前後にモードがありました。

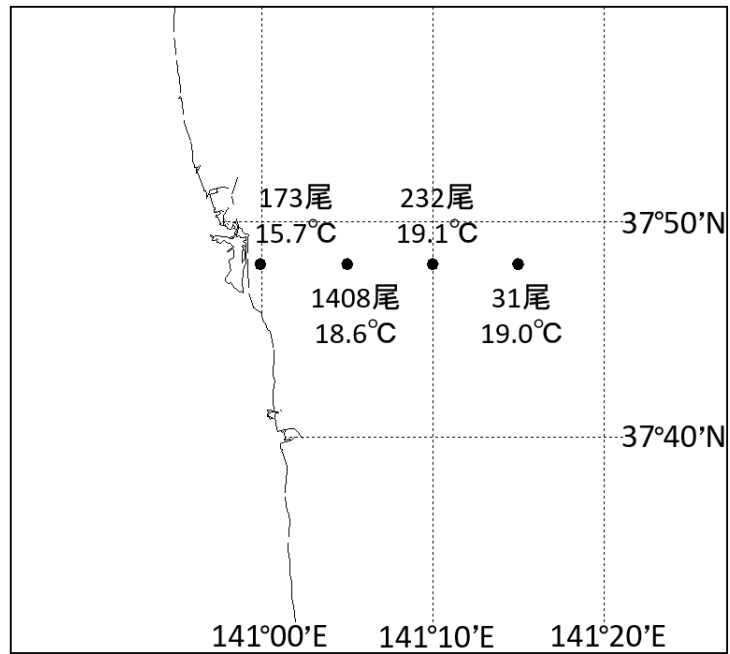


図1 カタクチイワシシラス採捕数

【いわき海域】

1 調査方法

- ・11月22日に概要をお知らせした調査船拓水によるいわき海域(小名浜定線)のカタクチイワシシラス調査結果(11月21日実施)の詳細をお知らせします。
- ・調査点は36-55N線上の、140-55E(水深18m)、141-00E(水深65m)の2点です。
- ・表面水温は19.7℃～19.9℃でした(図3)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・シラスの採捕数は1定点あたり41～676尾(合計717尾)でした(図3)。
7月のシラス採捕数は20～832尾であり、11月の調査では7月調査時の同じ2点における合計採捕数(852尾)よりも135尾少ない結果となりました。
- ・全長は5.9mm～27.8mmであり、10mm前後の群と25mm前後の群の2つの群で構成されていました(図4)。

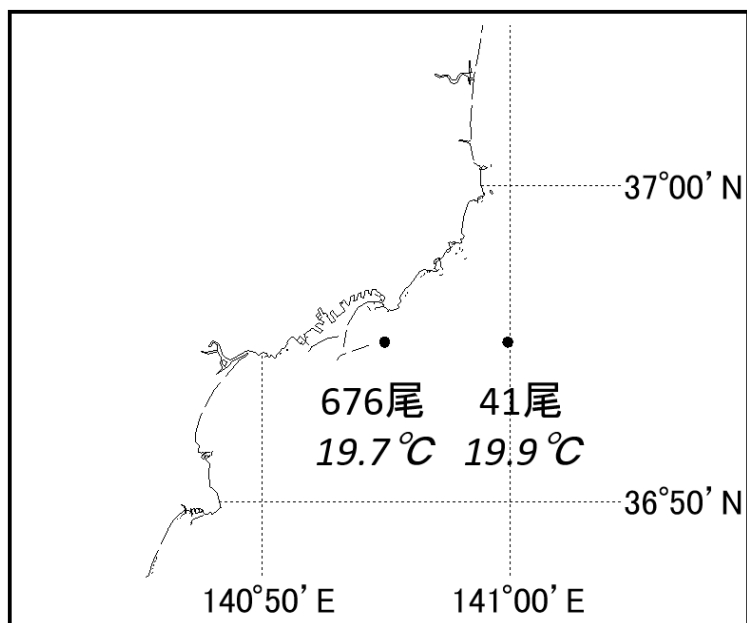


図3 カタクチイワシシラス採捕数

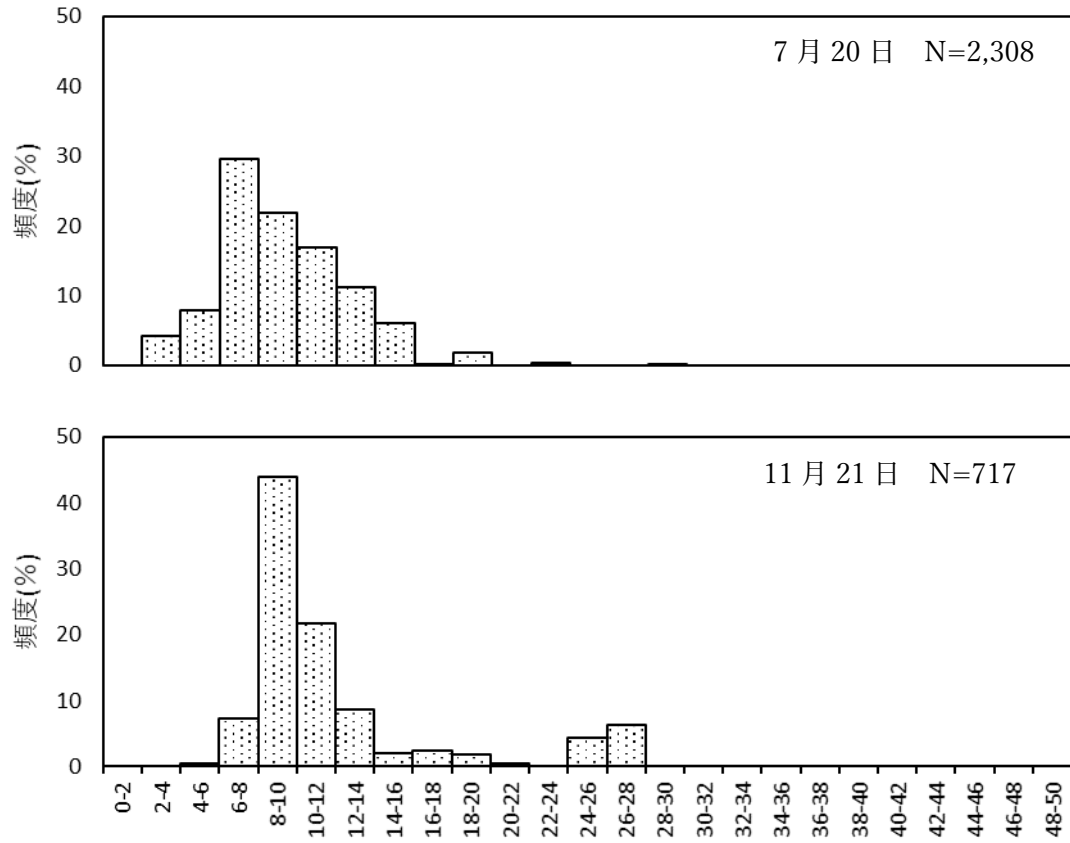


図4 調査月別シラスの全長組成

シラス採捕数について過去の11月における調査結果は図5のとおりです。

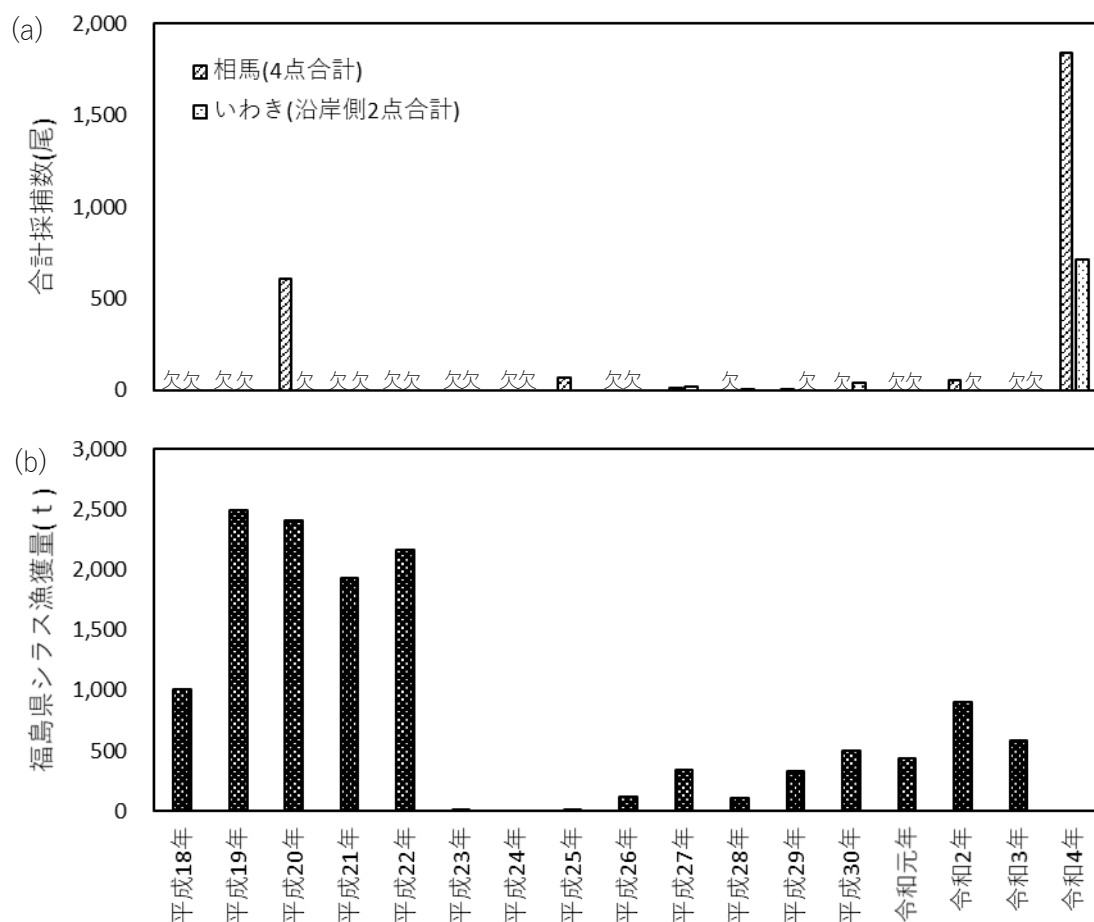


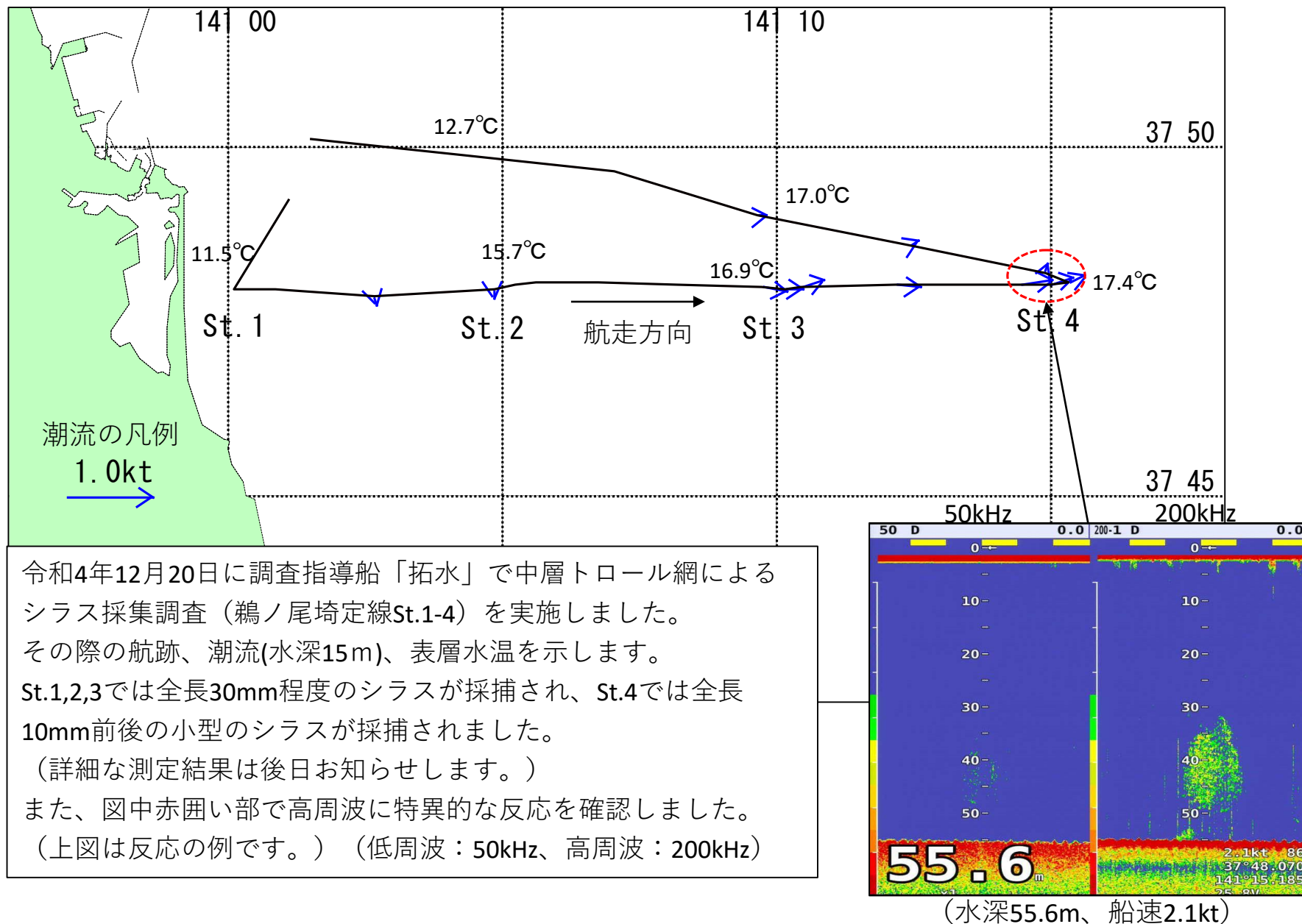
図5 (a)鵜ノ尾埼定線、小名浜定線における11月の合計採捕数、(b)福島県の年別シラス漁獲量

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>

シラス曳網調査（R4.12.23 福島県水産海洋研究センター）



令和4年12月20日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス採集調査（鵜ノ尾埼定線St.1-4）を実施しました。

その際の航跡、潮流(水深15m)、表層水温を示します。

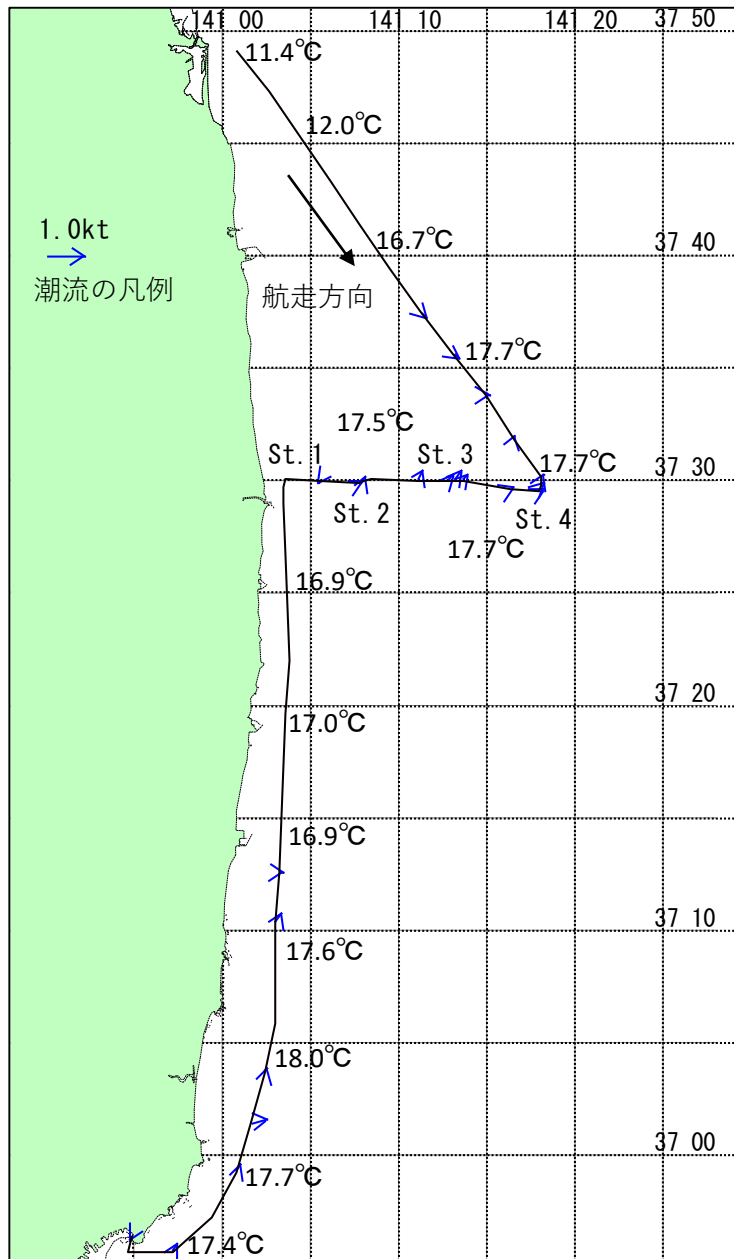
St.1,2,3では全長30mm程度のシラスが採捕され、St.4では全長10mm前後の小型のシラスが採捕されました。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、図中赤囲い部で高周波に特異的な反応を確認しました。

（上図は反応の例です。）（低周波：50kHz、高周波：200kHz）

シラス曳網調査（R4.12.23 福島県水産海洋研究センター）



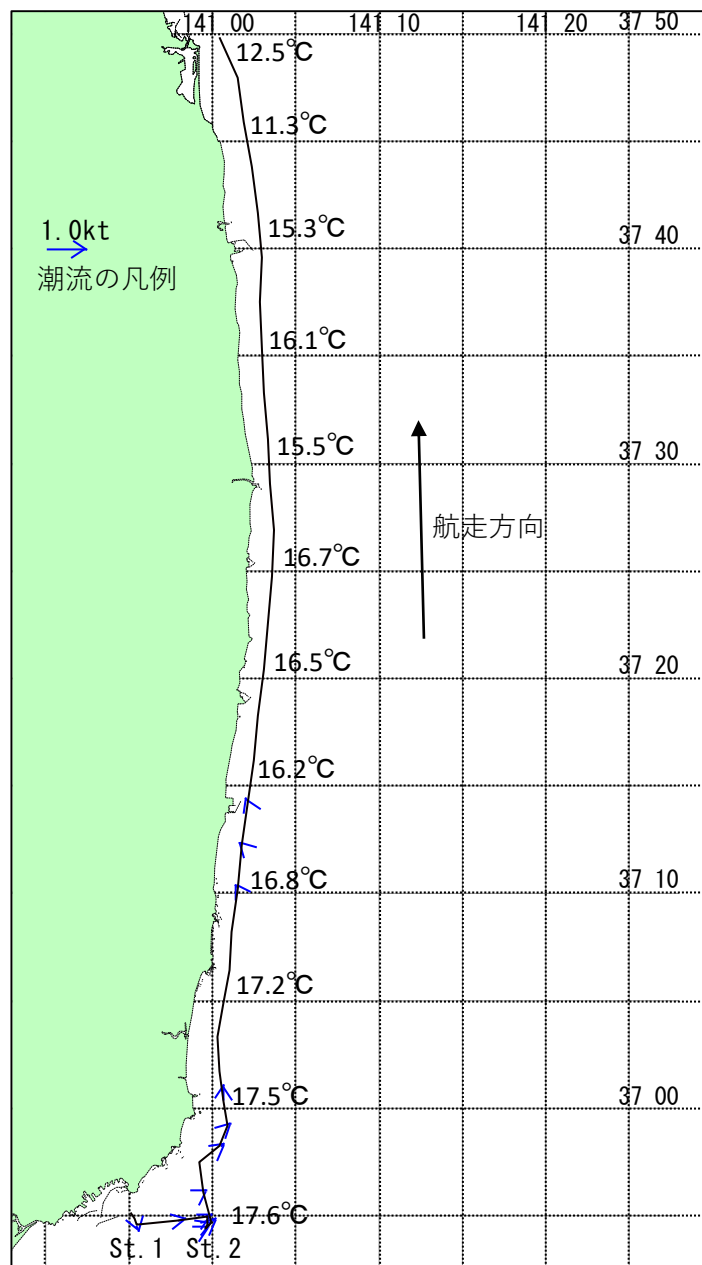
令和4年12月21日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス採集調査（請戸定線St.1-4）を実施しました。その際の航跡、潮流(水深15m)、表層水温を示します。

St.1,4では全長10mm前後の小型のシラスが採捕され、St.2,3では全長30mm程度のシラスが採捕されました。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、航走時に魚探を用いて反応を確認しましたが、高周波に特異的な反応は確認されませんでした。

シラス曳網調査（R4.12.23 福島県水産海洋研究センター）



令和4年12月22日に調査指導船「拓水」で中層トロール網によるシラス採集調査（小名浜定線St.1-2）を実施しました。その際の航跡、潮流(水深15m)、表層水温を示します。どの定点においても全長20mmから30mmのシラスが採捕されました。

（詳細な測定結果は後日お知らせします。）

また、航走時に魚探を用いて反応を確認しましたが、高周波に特異的な反応は確認されませんでした。

令和4年シラス曳網調査結果 No.11

令和4年12月27日

福島県水産海洋研究センター

【相馬海域】

1 調査方法

- ・12月23日に概要をお知らせした調査船拓水による相馬海域(鵜ノ尾埼定線)のカタクチイワシシラス調査結果(12月20日実施)の詳細をお知らせします。
- ・調査点は37-48N線上の、141-00E(水深11m)、141-05E(水深29m)、141-10E(水深38m)、141-15E(水深53m)の4点です。
- ・表面水温は11.5℃～17.4℃でした(図1)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・シラスの採捕数は1定点あたり0～11尾(合計16尾)でした(図1)。
11月のシラス採捕数は31～1,408尾(合計1,844尾)であり、12月調査時のシラス採捕数は11月調査時より大幅に減少しました。
- ・全長は9.9～33.5mmであり(図2)、141-05E、141-10Eでは全長10mm前後のシラスが確認されました。

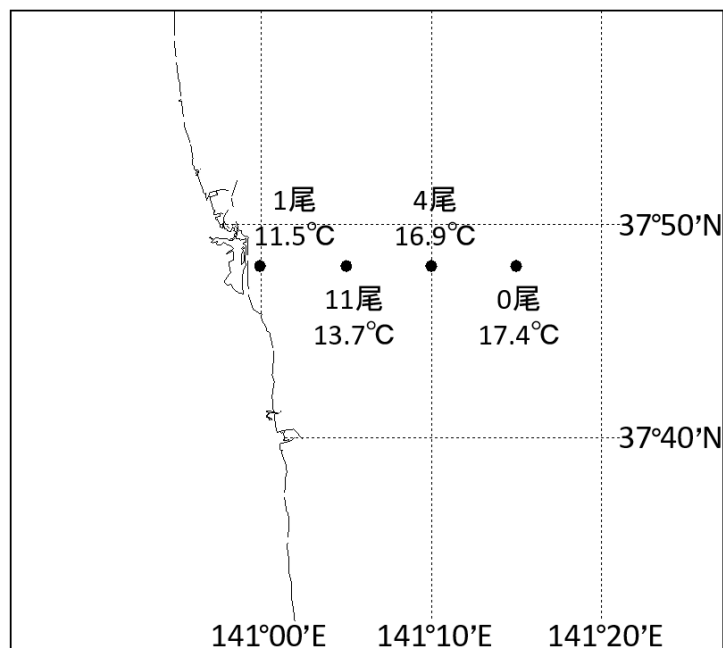


図1 カタクチイワシシラス採捕数

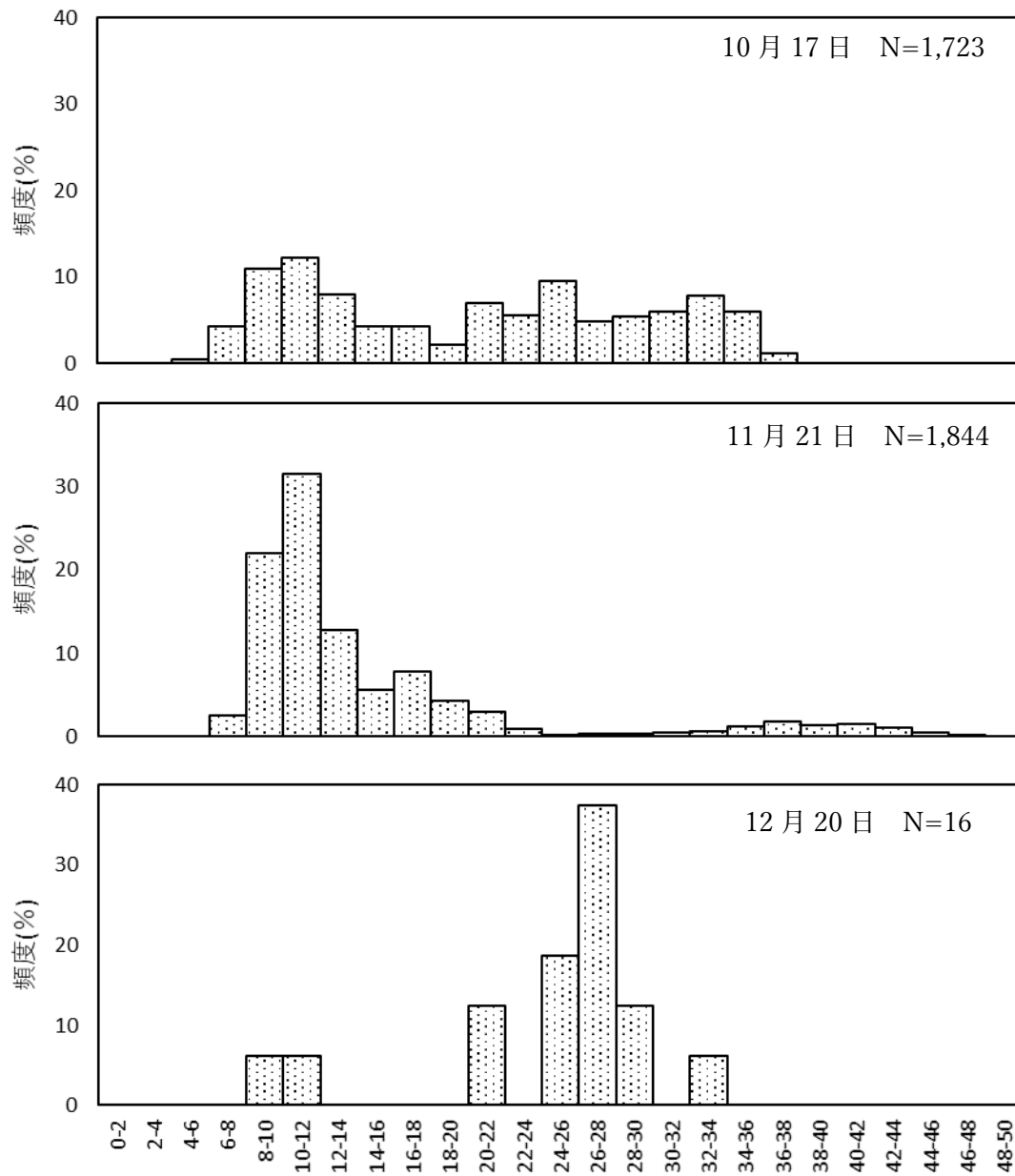


図2 調査月別シラスの全長組成

【双葉海域】

1 調査方法

- ・12月23日に概要をお知らせした調査船拓水による双葉海域(請戸定線)のカタクチイワシシラス調査結果(12月21日実施)の詳細をお知らせします。
- ・調査点は37-30N線上の、141-03E(水深12m)、141-08E(水深31m)、141-13E(水深71m)、141-18E(水深111m)の4点です。
- ・表面水温は15.9℃～17.7℃でした(図3)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・シラスの採捕数は1定点あたり1～6尾(合計13尾)でした(図3)。
10月のシラス採捕数は17～1,444尾(合計1,669尾)であり、12月調査時のシラス採捕数は10月調査時より大幅に減少しました。
- ・全長は10.7mm～23.4mmであり(図4)、全ての定点において全長10mm程度のシラスが確認されました。

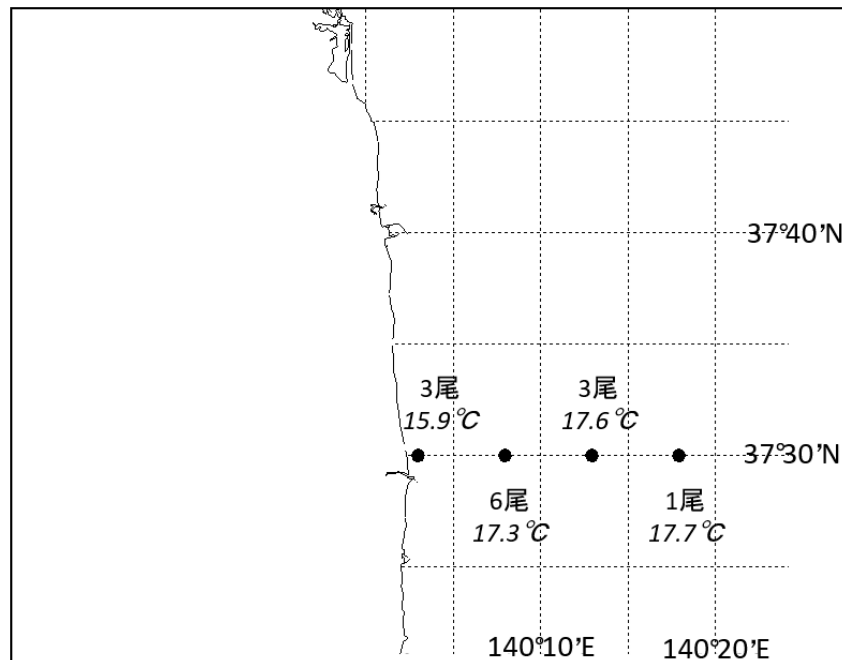


図3 カタクチイワシシラス採捕数

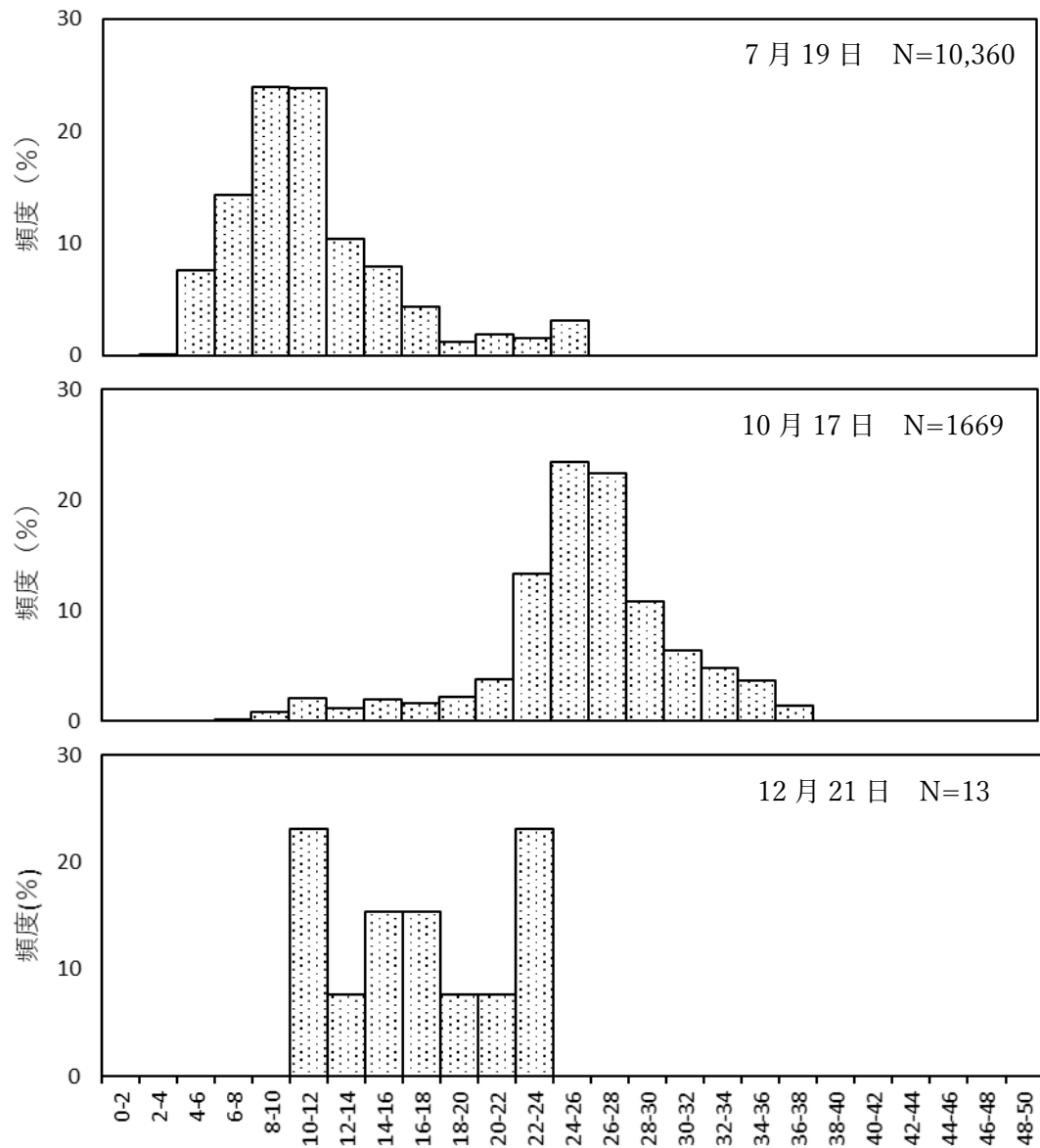


図4 調査月別シラスの全長組成

【いわき海域】

1 調査方法

- ・12月23日に概要をお知らせした調査船拓水によるいわき海域(小名浜定線)のカタクチイワシシラス調査結果(12月22日実施)の詳細をお知らせします。
- ・調査点は36-55N線上の、140-55E(水深19m)、141-00E(水深61m)の2点です。
- ・表面水温は16.9℃～17.6℃でした(図5)。
- ・中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)で水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網しました。(2kt)

2 結果

- ・シラスの採捕数は1定点あたり10～13尾(合計23尾)でした(図3)。
11月のシラス採捕数は41～676尾(合計717尾)であり、12月調査のシラス採捕数は11月調査時より大幅に減少しました。
- ・全長は7.2mm～23.5mmであり(図6)、141-00Eでは10mm前後のシラスが確認されました。

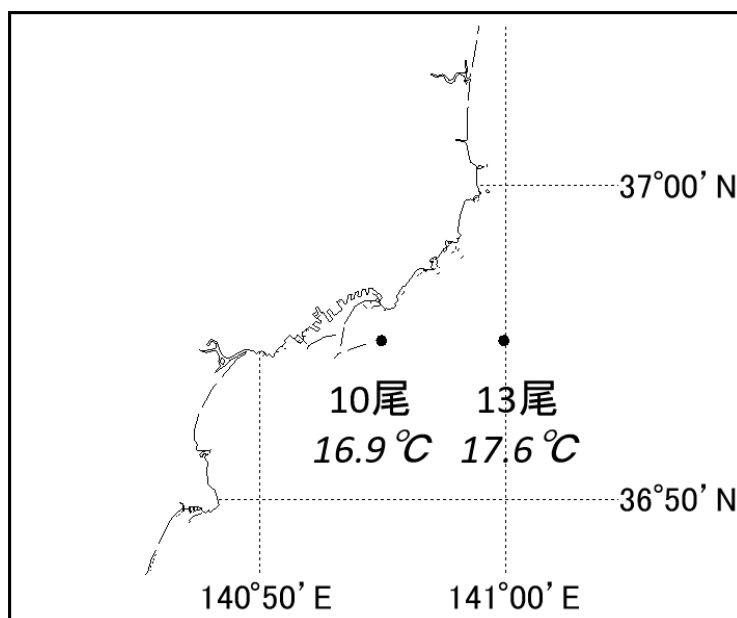


図5 カタクチイワシシラス採捕数

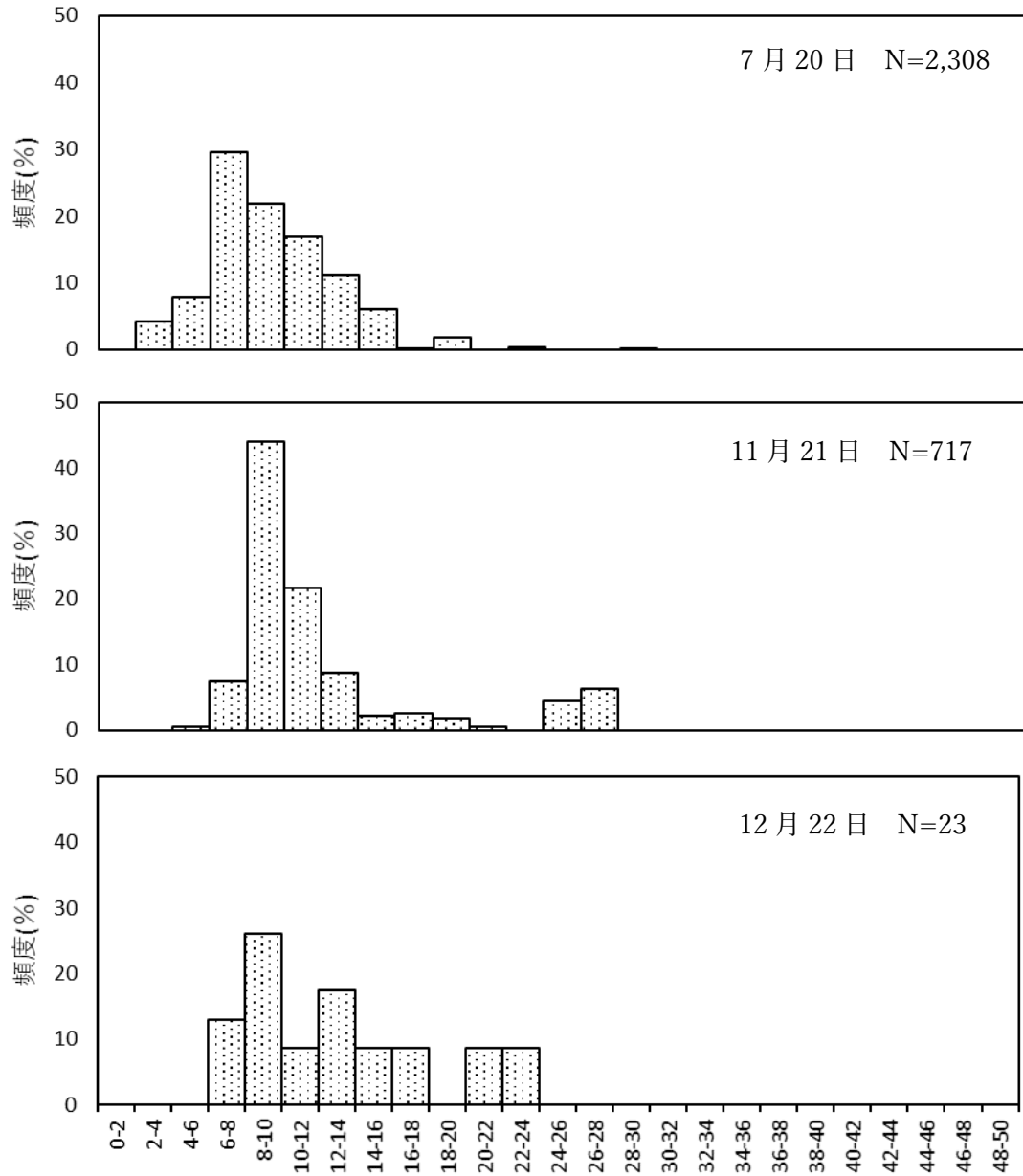


図6 調査月別シラスの全長組成

シラス採捕数について過去の 12 月における調査結果は図 7 のとおりです。

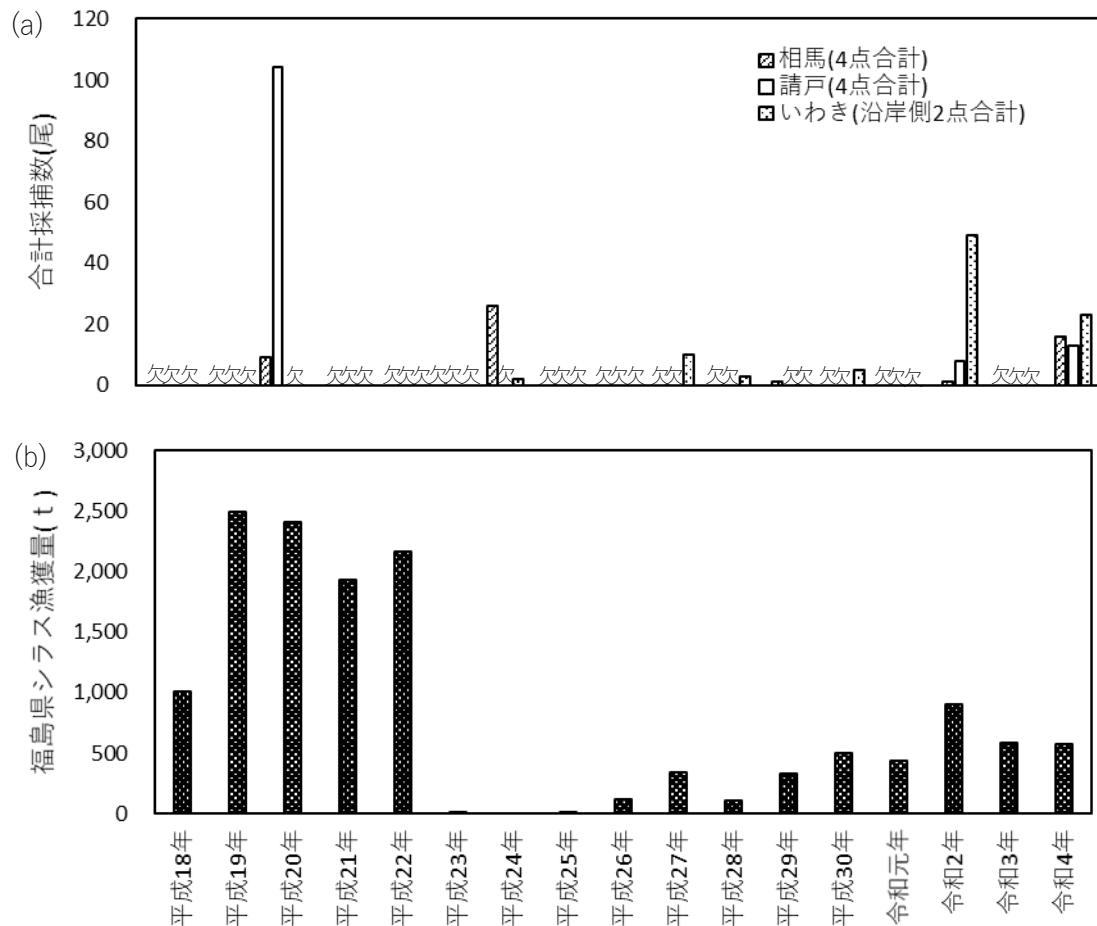


図 7 (a) 鶴ノ尾埼定線、請戸定線、小名浜定線における 12 月の合計採捕数
(b) 福島県の年別シラス漁獲量(令和 4 年：11 月末時点)

福島県水産海洋研究センターホームページにおいても調査結果を掲載しています。

検索サイトにて「福島県 シラス調査」で検索すると見つかります。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/>